



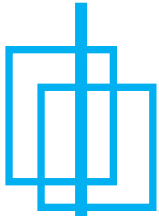
令和元年度

学びに向かう力推進事業

取組のまとめ

令和2年3月

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課



目次

はじめに 2

研究指定校園の取組

第1ブロック 高島市立マキノ西こども園、マキノ南小学校 3
『じっくり遊ぶ子からとことん学ぶ子へ』
～ 12年間の学びをつなぐ保育、授業づくり ～

第2ブロック 栗東市立大宝西保育園、大宝西幼稚園、大宝西小学校 6
『心動かし いきいきと学ぶ大西っ子を目指して』
～ 自ら学び考える力を育てる保育・授業の在り方を探る ～

第3ブロック 竜王町立竜王幼稚園、竜王小学校 9
『学びに向かう力を育む保育や授業の在り方』
～ 一人ひとりの自信を育み、主体的・対話的に学ぶ基礎の育成を目指して ～

第4ブロック 多賀町立多賀幼稚園、多賀小学校 13
『心豊かにたくましく つながり学ぶ多賀の子』
～ 自ら学び高め合う子どもの育成 ～

第5ブロック 長浜市立とらひめ認定こども園、虎姫小学校 16
『学びの連続性を踏まえた保育・教育の創造』
～ 接続期における伝え合う力の育成 ～

資料 各研究指定校園で作成した接続期カリキュラム等



はじめに

県教育委員会では、幼児教育と小学校教育の滑らかな接続を目指して、「学びに向かう力推進事業」を実施しています。昨年度からは、研究指定期間を2年間として、接続を見通して編成・実施された教育課程について、実践結果を踏まえ、さらによりよいものとなるよう検証・改善を進めてきました。また、それを通して、子どもたちの「学びに向かう力」の育成につながる指導内容や方法の工夫改善についての研究を推進し、ここに研究2年目の成果と課題をまとめました。

今回の小学校学習指導要領や幼稚園教育要領等の改訂では、示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」をもとに、幼稚園等と小学校の教員が5歳児修了時の姿を共有化することで、より一層の接続が期待されています。指定校園では、この「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を活用し、幼児期は遊びや生活の中で生きる力の基礎を培う時期であり、幼児期の学びと育ちは、小学校以降の教育の大切な根っこであることを共有しながら実践的な研究を進めてこられました。

例えば、それぞれの保育や授業を見あって、互いの教育を知ることから始め、主体的・対話的で深い学びの視点から組織的な保育・授業の改善を進める研究や、接続を見通した教育課程について何度も協議を重ねながら、幼児期の「学びの芽生え」を児童期の「学びの基礎」につなぎ、子どもたちの学ぶ力を育む研究等がありました。

2年間の研究をまとめた取組を参考にしながら、それぞれの校園で幼児教育と小学校教育の連携や円滑な接続に一層努めていただきたいと思います。

最後になりましたが、2年間に渡り、本指定事業に熱心にお取り組みいただきました指定校園ならびに、指定校園の研究を支えていただきました市町の担当課の皆様、研究に協力いただいた教職員の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和2年3月 滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課
課長 辻本 長一

第1ブロック：高島市立マキノ西こども園・マキノ南小学校
研究主題：じっくり遊ぶ子からとことん学ぶ子へ
～12年間の学びをつなぐ保育、授業づくり～

1 主題設定の理由（研究1年目の成果と課題を踏まえて）

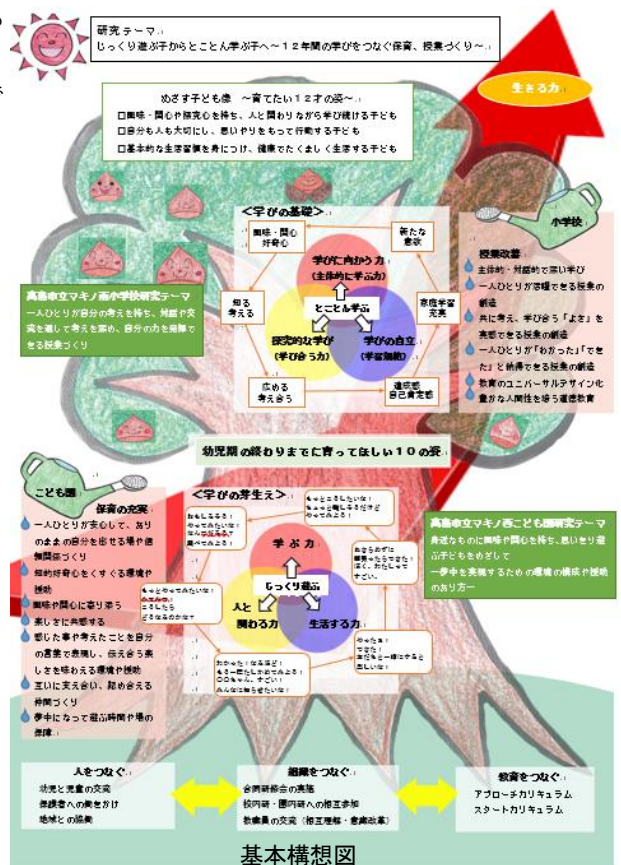
マキノ南小学校は高島市マキノ町の南部、マキノ西こども園は同町の中心部にそれぞれ位置し、田園風景が広がる自然豊かな環境で四季の変化を感じながら子どもたちはのびのびと育っている。保護者や地域の方は協力的で、行事への参加も積極的である。



こども園の子どもたちは明るく素直で人懐っこく、物事に真面目に取り組むことができる。その反面、自信のないことには取り組もうとしなかったり、取りかかりはよいが根気よく取り組めなかったりすることや、友だちとの関わり方に課題がある。小学校では、少人数による手厚い指導により、全体的に素直でまとまりのある集団になっているが、学ぶことに対して受け身的な子どもが多く、一人ひとりの子どもの主体性を育む視点を大切にする必要がある。また、少人数で指導が行き届く反面、固定された人間関係に閉塞感を感じている子どもがおり、幅広い人間関係を築いたり、大きな集団で自己表現をしたりすることに課題がある。

こども園から小学校への接続は、子どもたちにとって上がれない段差であってはならない。また、子どもたちにとって上がりたくなる段差でなければならない。そのため、入学時の教育課程には「滑らかな接続」を意識した編成の工夫が求められている。研究1年目の昨年度は、保育や授業の相互参観、職員間の情報交換を定期的に行い、マキノの子どもたちの実態に即した接続期のカリキュラムを作成した。

これにより、乳幼児教育や小学校教育それぞれの段階で大切にしていることや、小学校入学時に子どもが感じる段差について共通理解を図ることができた。また、その中で、園と小学校の職員間で子どもの姿の見取り方に相違があることが分かった。そこで、研究2年目は、人（子ども同士）、組織（職員同士）、カリキュラム（園から小学校へ）をさらにつなげるために、引き続き「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿（10の姿）」を指標とした保育、授業の改善を行いながら、滑らかな接続や連携について研究を進めることにした。



2 研究2年目の目標

保育と教育の接続に関する課題と12歳までに育てたい子ども像を明確にしなが、接続期のカリキュラムを検証・改善し、「興味、関心や探究心を持ち、人と関わりながら学び続ける子ども」「自分も人も大切にし、思いやりをもって行動する子ども」「基本的な生活習慣を身に付け、健康でたくましく生活する子ども」を育成する。

3 研究2年目の仮説

- ①こども園と小学校の連携の土台として、「人のつながり」「組織のつながり」「教育のつながり」を確立することが、子どもや家庭の安心や信頼になり、滑らかな接続が可能になるのではないかと。
- ②「学びの芽生え」段階の保育の充実や、「学びの基礎」段階の授業改善を、全ての保育者と教員が『つながり』を強く意識して取り組むことで、子どもたちは学ぶ楽しさを味わうことができ、主体的に学ぼうとする意欲が高まるのではないかと。

4 実践事例

■マキノ西こども園の園内研究

研究テーマ「身近なものに興味や関心をもち、思いきり遊ぶ子どもを目指して ～夢中を実現するための環境の構成や援助の在り方～」に基づく保育の充実

■マキノ南小学校の校内研究

研究テーマ「一人ひとりが自分の考えをもち、対話や交流を通して考えを深め、自分の力を発揮できる授業づくり」に基づく授業改善

■職員の交流（組織のつながり）

- ・園内保育研究会、校内授業研究会への相互参加による、園での「学び」の意味や小学校の「学びの在り方」に関する協議や情報交流
- ・小学校教員による保育体験
- ・保育者による授業体験



■アプローチ・スタートカリキュラムの検証・改善（カリキュラムのつながり）

（資料参照）

■園児と児童の交流活動の計画・実践（人のつながり）

- ・「七夕飾りをつくろう」（6月）
- ・「ジャガイモ掘りをしよう」（7月）
- ・「ハロウィンパーティーをしよう」（10月）
- ・「クリスマスパーティーをしよう」（12月）
- ・「カルタをつくって遊ぼう」（1月）
- ・「給食を一緒に食べよう」（2月 体験入学）
- ・「卒園・進級パーティーをしよう」（3月）



5 研究2年目の成果と課題

（人のつながりから）

- ・計画的に年長児と1年生の交流の機会をもたせたことで、年長児が小学校をより身近に感じ、校舎や先生に親しみをもつことができた。
- ・年長児との交流を重ねることで、1年生は小学校に入学して成長した自分に気付くことができた。
- ・1年生になると、してもらい機会が増えてしまうが、年長児と関わることがリーダーとして活躍できる場となり、下がりたくない段差を改善し、自信をもって活動することにつながった。

（組織のつながりから）

- ・1年目の課題（子どもの見取り方の相違）を解決するために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を指標として保育や授業について協議することで、子どもの学びを共有することができた。また、子どもの育ちについて気軽に連絡を取り合えるようになった。
- ・職員が校種の違う保育や授業を体験することで、園小の互いの取組のねらいを理解し、その良さを生かそうとする雰囲気、土壌ができた。
- ・互いの保育や授業の参観期間にゆとりをもたせることで、全職員が参観することができ、互いの現場の実態や教育について知る機会になった。
- ・校種を越えて職員間で、子どもの学びや経験、環境構成や手立て等について情報を交換することで、互いの保育・授業改善につながった。

（カリキュラムのつながりから）

- ・昨年度作成したアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの実践の結果を踏まえて、より実効的なものへ再編成することができた。

6 今後に向けて

○ 持続可能な体制づくり

研究を通してつくられた土台をもとに、取組を継続、発展させていくための体制づくりが必要である。

○ すべての子どもたちにとって有効なカリキュラムの作成

マキノ西こども園を卒園し、マキノ南小学校へ入学する子どもだけでなく、他校に入学する子どもも含めて、全ての子どもたちにとって有効なカリキュラムにするために、内容の見直しをしていく。

マキノ西こども園・マキノ南小学校 < 幼小接続期カリキュラム >

幼児期の終わりまでに育てたい姿				第1学年（1学期）の終わりまでに育てたい姿												
<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの楽しさを味わいながら、自分の力を発揮し、自信をもって過ごす。 ・友だちと目的に向かって取り組む中で、思いや考えを伝え合ったり、試したり工夫したりする。 ・生活に必要な活動を進んで行き、見通しをもって過ごす。 				<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことの楽しさを実感し、自分の力を発揮し、自信をもって過ごす。 ・学習や生活の中で友だちと関わり、お互いの考えを交流しながら行動する。 ・学校生活に必要な基本的な生活習慣を身に付け、学習活動の見通しをもって行動する。 												
アプローチカリキュラム				幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿に関する 幼児・児童の姿		スタートカリキュラム										
主体的に 学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活への期待をもつ。 ・いろいろな運動遊びに興味をもち、自分なりの目的に向かって繰り返し挑戦する。 ・身近な自然に興味や関心をもち、季節の移り変わりを感じたり、遊びに取り入れたりする。 ・身近な文字や数字に興味や関心をもち、遊びの中に取り入れる。 ・絵本や物語に親しみ、お話の世界を楽しんだり想像力を膨らませたりする。 			1・2・3月の姿 <ul style="list-style-type: none"> ・体験入学を通して、小学校生活へ期待をもつ子や不安を抱えている子がいる。 ・文字や数に対する興味や関心、理解においては個人差が大きい。 		4・5月の姿 <ul style="list-style-type: none"> ・日に日に学校生活に慣れ、適度な緊張感をもちながら過ごしている。 ・ひらがなの学習やたし算、ひき算の学習への興味が強い。 ・個々の学びが中心である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活に結びつく体験活動の中で、「やってみよう」という気持ちをもつ。（場の設定、授業展開の工夫） ・自分たちの力で活動する良さを味わう。（学級集団の育成） ・学校に慣れる。（裁量的な時間の使い方やカリキュラム編成） 								
	学び 合う力	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に共通の目的に向かって、思いや考えを出し合いながら、遊びを進めることを楽しむ。 ・様々な人との関わりを通して、ふれあいを楽しんだり、思いやりをもって接したりする。 ・身近な自然に興味をもち、遊びに取り入れて、試したり工夫したりする。 ・五感や直接体験を通して心が揺さぶられる経験を積む。 ・話の内容に関心をもち、自分のこととして聞いたり、考えたことを自分なりの言葉で伝えたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要なルールや作戦を友だちと一緒に考え、困ったことやトラブルが起こったら自分たちで解決しようとする。 ・遊びの振り返りの場で、考えや思いを自分なりの言葉で伝えようとする。 ・相手の気持ちを考え自分の気持ちを言葉で伝えようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発想力が豊かで、気付いたことや考えたことを必死に伝えようとしている。 ・大半の児童が同じこども園から入学しているので、新たに友だちを作る場が少なく、人間関係が固定化されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・聞き合う姿勢を育てる。 ・学校生活をしようとする意欲をもつ。（異学年交流や全校行事） ・友だちと学ぶ楽しさを味わう。（ペアやグループでの学び合いを重視） 							
自立 する力		<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの思いや葛藤などを受けとめてもらいながら、小さな成功体験を積み重ね自信や意欲をもって過ごす。 ・生活に見通しをもって、身の回りのことを進んでする。 ・正しい姿勢で話を聞いたり食事をしたりする。 ・安全に楽しく過ごすためのきまりや約束がわかり、考えながら行動する。 ・飼育、栽培活動を通して、動植物に親しみ、大切に世話をする。 ・いろいろな食材に親しみ、感謝をして食事をしたり、元気に過ごすために好き嫌いをなく食べようとしたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・大半の子が見通しをもって生活している。 ・先生や友だちの話に興味をもって聞いたり、相手に分かるように話したりしている。中には、話を最後まで聞かずに、行動に移してしまう子もいる。 ・鉛筆には、慣れ親しんでいるが、正しく持てない子もいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学校生活を送っているが、初めてのことが多く不安を感じている児童もいる。 ・朝食を食べる習慣が身に付いている。 ・チャイムが鳴ったら友だちに教えるなど、時間を守って行動している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・時間を見通し、ルールを守って安全に学校生活を送る。（教科学習、教室掲示、視覚支援） ・自分たちで学ぶ面白さや遊ぶ楽しさを感じる。（学び方マスター習慣やマキノ中学校区の学習スタイルの取り組み） ・動植物を大切に、感謝の心をもって生活をする。 							
	年長児	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小1	4月	5月	6月	7月				
活動 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びをする（体操・裸足のリズム・縄跳び・跳び箱・鉄棒・雲梯・登り棒・フープ等） ・ルールのある遊びをする（リレー・ドッジボール・サッカー・鬼ごっこ等） ・自然物を集めて遊びに使う（アクセサリー屋さん・どんぐりコマ・ジオラマ・パチンコ・レストラン等） ・自然物や木片で制作遊びをする（家・街・乗り物・動物等） ・虫つかみをする（捕まえる・調べる・飼育する等） ・お正月遊びや、伝承遊びをする（かるた・トランプ・郵便ごっこ・コマ・あやとり・風揚げ等） ・いろいろな絵本に親しむ ・表現遊びをする（ダンス・お話作り・劇遊び・合奏・歌等） ・いろいろな材料、用具を使って絵を描く（絵具・ペン・クレパス・コンテ・版画等） ・地域のお年寄りの方に親しむ（芋ほり・焼き芋・お餅つき・施設訪問等） ・異年齢児と遊ぶ (散歩・芋ほり・お土産さんごっこ等) ・栽培、収穫、調理をする（さつま芋・大根・人参・ほうれん草等） 						<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の時間を中心とした運動遊び（走の遊び・跳の遊び・鬼遊び・固定遊具を使った遊び・水遊び） ・係活動によるお楽しみ会、体育科の時間を中心とした運動遊び 生活科「みんななかよし」「なつとなかよし」や図画工作科を中心とした体験活動 朝の読書時間、高学年やボランティアによる読み聞かせ、マキノ図書館による訪問貸し出し、季節に応じた本棚の設置 音楽科「おんがくにあわせて」「リズムとなかよし」「どれみとなかよし」、国語科「おおきなかぶ」の表現活動 図画工作科を中心とした作品づくり、生活科の観察 ・ふるさと遊び（11月） 生活科「わたしのがっこうどんなところ」、全校行事「1年生をむかえる会」、たてわり遊び、係活動、当番活動 学級活動「ドッジボール大会をしよう」（11月） 生活科「はなやさいをそだてよう」 									
	家庭 との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者一人ひとりの気持ちに寄り添い、生活全般についても一緒に確認していけるようにする。（箸の持ち方、姿勢等） ・子どもも保護者も安心して就学を迎えられるよう、子どもの成長を具体的に伝えながら家庭と喜びを共有し、就学の期待につなげていくようにする。 						<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学校での様子を、通信や電話でこまめに伝える。 ・家庭訪問等の機会を有効に活用し、児童理解に努める。 学級懇談会 個別懇談会 ・アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムについて説明をする。 								
園小 交流・ 連携		10月 年長児・1年生交流「秋の木の実屋さん」 年長児ねらい ・秋の自然に興味関心をもち、触れたり遊びに取り入れたりして楽しむ。 ・1年生への憧れの気持ちをもって遊ぶ。 1年生 ねらい ・生活科の学習で学んだこと、つくったものを園児の前で発表したり、遊んでもらったりする。 ・地域に親しみ、季節の移りかわりを楽しむ。		2月 年長児・1年生交流「体験入学」 年長児ねらい ・1年生への憧れの気持ちをもって遊ぶ。 ・小学校への親しみをもち、小学校生活に期待を高める。 1年生 ねらい ・4月から一緒に勉強したり遊んだりする友だちに優しく教えたり、説明したりする。 ・もうすぐ上級生になるという意欲を高める。		3月 年中児・年長児交流「ジャガイモ植え」 年長児ねらい ・昨年の経験を思い出し、年中児に植え方を教える。 年中児ねらい ・年長児に教えてもらいながら、植え方を知る。		6月 新年長児・新1年生交流「七夕飾りを作ろう」 年長児ねらい ・小学校へ親しみをもつ。 ・七夕の由来を知り七夕飾りを一緒に作ることを楽しむ。 1年生 ねらい ・年長児をもてなす心をもって、仲良く過ごす。 ・ひらがなを使っている自分の姿から、成長していることに気付く。 7月 年長児・1年生交流「ジャガイモ掘りしよう」 年長児ねらい ・収穫の喜びを味わう中で、大きさや数に関心をもつ。 ・園に招待し、一緒に活動することを楽しむ。 1年生 ねらい ・野菜を収穫する喜びを味わう。 ・算数科の学習で学んだ数を使ってじゃがいもを数える。 ・小学校に入学して成長した自分に気付く。		10月 年長児・1年生交流「ハロウィンパーティーをしよう」 年長児ねらい ・1年生や学校の先生との交流を楽しむ。 ・様々な素材や用具を使って自分だけのハロウィンマントを作ることを楽しむ。 1年生 ねらい ・グループのリーダーになって活動を進める。 ・年長児とのハロウィンパーティーを楽しむ。 ・はさみやテープを使いながら、オリジナルマントを作ることが出来る。 12月 年長児・1年生交流「クリスマスパーティーをしよう」 年長児ねらい ・1、2年生や学校の先生との交流を楽しむ。 ・交流を楽しみながら、数や文字に関心をもつ。 1年生 ねらい ・グループのリーダーになって活動を進める。 ・年長児に学校での学習や遊びを紹介し、活動を楽しむ。		1月 年長児・1年生交流「カルタ大会をしよう」 年長児ねらい ・1年生との交流を楽しむ。 ・互いのイメージを伝え合いながらカルタづくりを楽しむ。 1年生 ねらい ・グループのリーダーになって活動を進める。 ・4月から上級生になるという自覚をもつ。 ・互いのイメージを伝え合いながらカルタづくりを楽しむ。 3月 年長児・1年生交流「卒園・進級パーティーをしよう」 年長児ねらい ・1年生への憧れの気持ちをもって遊ぶことを楽しみ、小学校生活への期待を高める。 1年生 ねらい ・4月から上級生になるという期待を膨らませる。 ・パーティーの計画や進行により自分たちで物事を進める楽しさを味わう。				
	職員	10月 ・交流会議		1月末～ ・小学校職員が年長児の参観		2月 ・交流会議 ・体験入学		4月 ・園小連絡会 ・園職員が新1年生の参観		5・6月 ・交流会議		7月 ・園小合同研修会		9・10月 ・交流会議		11月 ・小学校職員の 保育体験

第2ブロック：栗東市立大宝西保育園・大宝西幼稚園・大宝西小学校
研究主題：心動かし いきいきと学ぶ大西っ子を目指して
 ～自ら学び考える力を育てる保育・授業の在り方を探る～

1 主題設定の理由（研究1年目の成果と課題を踏まえて）

研究1年目の昨年度、互いの保育・授業を参観し合う中で特に注目したのが、園の子どもたちが、工夫された環境の中で保育者や友だちと関わり合いながら、目的意識をもって自分のやりたいことを繰り返し試したり、自分の思いをそれぞれの方法で表現したり追究したりする姿である。このような「遊びの中の学びの姿」から、「自ら学び考える力を育成する要素」として「目的意識をもつ」「試行錯誤する」「表現する」の3つの視点（キーワード）を見出した。研究2年目の今年度は、それらを「学びをつなぐ共通のキーワード」として設定し、保育研究、授業研究に組織的に取り組んでいくこととした。

また、1年生においては、昨年度作成した接続期カリキュラム（スタートカリキュラム）を実践し、子どもたちが安心して小学校生活を過ごしなが、幼児期に培った力を発揮することができるよう進める。

2 研究2年目の目標

子どもが心を動かすような導入や保育環境、学習環境を工夫し、目的意識をもち、目的に向かって試行錯誤したり表現したりするプロセスを設定した保育・授業を組み立てる。「学びをつなぐ共通のキーワード」を共通の視点として保育・授業改善を行うことで、保幼小の「接続」を進める。

3 実践事例

（1）保育・授業の実践【（工夫した点）→（得られた成果）として記載】

①保育園5歳児『目指せ！らいおん組のたからじま！』

- ・砂や色水などの自然物、おもしろいな触れてみたいと感じる素材を使った遊び
→心が揺さぶられる素材との出会い、子どもが自ら関わる環境
- ・子どもの気付きを受けとめる → 試したり工夫したりする意欲

②幼稚園5歳児『わんぱくだんのたからじまで遊ぼう！』

- ・絵本のイメージの中での草花を使った色遊び
→子どもが心を動かし、「やってみよう」と遊びだせる環境設定
- ・子どもたちに任せられる教材 → 夢中になって遊び込む姿
- ・「10の姿」の視点で子どもを見取り、関わる → さらに遊びが発展

③小学校1年生 生活科『うきうきワクワク！あきまつりだぞう！』

- ・秋に浸り遊び込める環境や時間の保障 → 「様々な気付き」「自発的な学び」
- ・めあてに対するふり返り、友だちとの交流や相互評価 → 「思考の促し」「試行錯誤」

④小学校2年生 国語科『大発明！ハイタッチ研究所！～自分が考えた道具を発表しよう！』

- ・少人数グループでの対話 → 「対話の楽しさ」「伝えたい気持ち」
- ・付箋を整理して発表内容をよりよいものに練る → 「再構築する（読み解く力）」



（2）実践の検証

保育・授業研究から、保育・授業づくりの基本手順として、まず、子どもの実態を把握し、保育や教科の内容や目標に合わせて目指す子ども像を設定する。その上で、子どもの思いや願いに沿った手立てを仕組んでいく。その中で「目的意識をもつ」「試行錯誤する」「表現する」の3つの学びのプロセスを踏んだ保育・授業を展開し、評価と修正をしていく。保育・授業研究を組織的に取り組んだことによって、図1のような保育・授業づくりの基本手順を改めて確認することができた。

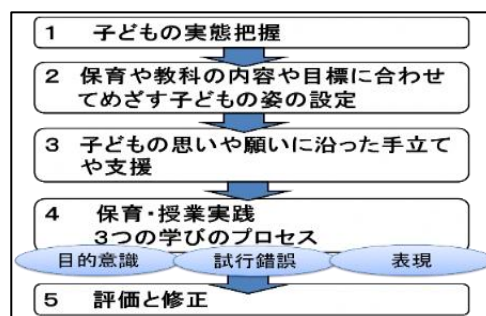


図1 保育・授業づくりの基本手順

また、子どもが心動かし「目的意識をもつ」ことが夢中になって遊んだり調べたり試したりといった「試行錯誤する」ことにつながり、自分が試行錯誤して得たことを友だちや先生に発信したいという思いが「表現する」ことにつながる。実践を通して研究を進めていく中で、どの発達段階においても図2のように3つのプロセスがスパイラルに繰り返され、学びが深まっていくことを実感しているところである。

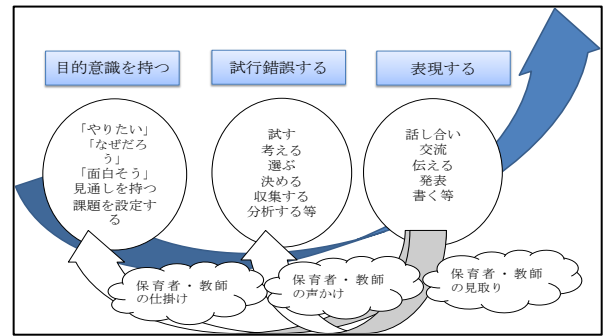


図2 学びの深まりへのプロセス・スパイラル

4 幼児教育と小学校教育をつなぐ取組や接続期カリキュラムの取組と検証

(1) 保護者との連携

カリキュラムの実施にあたり、園のどのような姿を小学校につなげていくのか、また、子どもたちが安心して段差を乗り越えるためには、家庭でどのような配慮をしていけばよいかを校園共同で保護者に発信した。そのことが保護者にとっての安心感となり、子どもが段差を乗り越える力につながった。



図3 絵本に食い入って聞く様子

(2) スタートカリキュラムの実際

スタートカリキュラムの具体的な時間割や学習活動の工夫については、主体的に自分らしさを発揮できるよう、徐々にステップアップしていくねらいを定めた。また、幼児期に親しんできた遊びや活動を取り入れたり、子どもの実態や活動内容に応じて、45分の授業時間にとらわれず15分や20分程のモジュールを取り入れたりした。4月の1時間目に設定した「にこにこタイム」では、園で親しんだ体操や歌、絵本の読み語りを取り入れたり（図3）、学年合同や1年生以外の教職員とのティーム・ティーチングを取り入れたりした。5、6月には、生活科を中心に合科的・関連的な指導を行った。幼児期の「遊びを通して総合的に学ぶ」ということから関連させ、生活科の学習成果を他教科等の学習に生かしたり、他教科等の学習成果を生活科の学習に生かしたりして、生活科と複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習を展開することで、指導の効果を高められるようにした（図4）。その結果、幼児期の学びをスムーズに小学校への学びにつなげることができた。



図4 生活科を中心とした合科的・関連的な指導（図画工作科→生活科）

(3) 保幼小合同研修会

保幼小の合同研修会（図5）では、小学校教員が保育体験をしたり、保幼小の教員が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」をもとに子どもの学びや育ちについて一緒に考えたり、園の教員が「遊びの中の学びの姿」を伝えたりした。小学校教員にとっては幼児教育や「10の姿」についての具体的な理解が深まり、保幼の職員にとっては、保育で身に付けた力が、小学校でどのように発揮されていくのかイメージすることができるようになるなど、互いの理解を深めることができた。



図5 合同研修会の様子

5 研究2年目の成果と課題

- ・小学校教員が園の保育を参観する機会や、園が「遊びの中の学び」について発信する機会を設けることで、「10の姿」についての具体的な理解や「学びをつなげること」への意識が高まった。
- ・校園共通の3つのキーワード「目的意識をもつ」「試行錯誤する」「表現する」を設定することで、自ら学び考える力を育てる保育改善・授業改善を組織的に進めることができた。
- ・園においては、「遊びきる」ことを繰り返すことで「10の姿」を目指し、小学校においては、「10の姿」を踏まえたスタートカリキュラムづくりや授業づくりをしていく必要がある。

6 今後に向けて

実践した接続期カリキュラムについては、今後も継続的に、子どもの姿を通じた検証を行い、改善を図るとともに、ブロック別研修会において、大学教授よりご指導いただいた「遊びきること」「10の姿を踏まえたカリキュラムづくり、授業づくり」を意識し、取組を深めたい。

令和元年度 大宝西小学校区 保幼小接続期カリキュラム

小学校区 の課題	・与えられたことはやろうとするが、自ら「やってみたい」という気持ちを持ったり、挑戦したりする力が弱い。 ・人と関わることは好きだが、自分の思いを伝えたり相手の気持ちを受け入れたりすることに弱さが見られる。						育 て た い 力	・自主性、主体性(自ら考え行動する力、挑戦してみようとする意欲) ・人と関わる力(人とつながる力)					
	5歳児	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小1	4月	5月	6月	7月	
アプローチカリキュラム							スタートカリキュラム						
生きる力と学ぶ力の基礎	人と かわ るか か	遊びや活動を通して学んでいく教育課程						「安心」「成長」「自立」をめざして時間割や学習活動を工夫する					
	生活 する 力	・遊びや活動を通して人との関わりを楽しみ、いろいろな思いに気づいたり共感したりする。						・友だちの良さに気づき、人に優しくしたり、相手の気持ちを考え関わったりする。					
	学 び に 向 か う 力	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。						・生活習慣が確立し、見通しを持って生活する。 『ひとりできるもん大作戦1』 ・当番活動や役割を経験する。					
		・様々な物事の面白さや不思議さに興味を持ち、自分で工夫したり試したりする。						・心動かす経験や体験を通して達成感や自信をもつ。					
保育・授業の視点(キーワード)・・・「目的意識をもつ」「試行錯誤する」「表現する」													
主な遊びや活動と 教科のつながり	健康	・ごっこあそび ・リズムあそび ・集団あそび ・遊具あそび ・運動あそび ・野菜、花の栽培・収穫 ・散歩 ・自然を使った遊び ・交通安全教室 ・異年齢児交流 ・避難訓練 ・身体測定				幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 健康な心と体		連続性 あそび 学習 連続性	体育	・歩く、走る、跳ぶ ・体操、ダンスをする。 ・遊具遊びをする。 ・水遊びをする。			
	人間関係	・ごっこあそび ・立体的制作 ・手合わせ歌 ・楽器あそび ・ふれあいあそび ・わらべ歌あそび ・集団あそび ・遊具あそび ・保幼小交流 ・お手紙 ごっこ ・郵便ごっこ ・行事への参加 ・異年齢交流				自立心			道徳	・規則正しい生活をする。 ・時間を守る。 ・友だちの思いを理解し助け合う。 ・身近な人に感謝する。 ・身近にいる幼い人に親切にする。 ・家族を大切にする。			
	環境	・野菜、花の栽培、収穫 ・飼育、観察 ・散歩 ・自然を使ったあそび ・絵本 を見る、読む。				自然との関わり 生命尊重			生活	・交通ルールを守る。 ・安全に通学する。 ・公共の場でのマナーを守る。 ・植物を育てる。			
	言葉	・ごっこあそび ・表現あそび ・言葉あそび ・手あそび ・手合わせ歌 ・ふれ あいあそび ・いろいろな行事の司会 ・わらべ歌あそび ・集団あそび ・絵本を 見る、読む ・ゲームあそび ・生活体験のふり返り ・お手紙ごっこ ・郵便ごっ こ				協同性			算数	・数を数える。 ・計算をする。 ・分類する。			
	表現	・砂あそび ・粘土あそび ・季節のものをつくるあそび ・段ボールあそび ・ パス、絵の具、マジックあそび ・いろいろな技法を使ったあそび ・構成あそ び ・楽器あそび ・編み物あそび ・げきあそび				数量・図形、 文字等への 関心・感覚			国語	・言葉を話す。 ・正しい発音をする。 ・文字を書く。 ・物語を読む。 ・作文を書く。 ・言 葉の意味を知る。 ・言葉の働きを知る。			
	社会生活との関わり					道徳性 規範意識の 芽生え			図画工作	・絵を描く。 ・造形遊びをする。 ・はさみ、のり、色鉛筆、クレヨン(パス)など道具を使 う。 ・イメージしたものを工夫して形にする。			
		栗東市「すくすく育つりっとう子 あそびのおもちゃ箱」より				豊かな感性 と表現		音楽	・歌を歌う。 ・音楽を聴く。 ・楽器を奏でる。 ・リズムを打つ。				
※生活科を中心に合科的・関連的な指導													
家庭との 連携	12月園にて 保護者にアプローチカリキュラムの説明をし、理解と協力を得る。						2月小学校入学説明会にて スタートカリキュラムの説明 子どもが安心して段差を乗り越えられるように 協力のお願い			入学式後の学級指導 スタートカリキュラムの詳細説明 実施にあたってのお願い			
保幼小 交流携 携	子ども	5歳児・小学1年生交流 「秋まつり」12月 【ねらい】 5歳児・・・①年上の友だちへのあこがれの気持ちをもって遊ぶ。 ②地域に親しみ、秋の自然に触れながら、季節の移り変わりを感じる。 1年生・・・①年下の友だちやグループの仲間と仲良く活動する。 ②地域に親しむとともに、公共施設でのルールを守り、秋の自然に親しむ。				5歳児・小学1年生交流 「体験入学」2月 【ねらい】 5歳児・・・①年上の友だちへのあこがれの気持ちをもって遊ぶ。 ②小学校への親しみを持ち、小学校生活に期待を高める。 1年生・・・①これまで関わってきた友だちにやさしく教えたり、説明したりする。 ②2年生へ進級する喜びをもって意欲的に一日入学の準備をする。			5歳児・小学1年生交流 「はじまての会」6月 【ねらい】 5歳児・・・①年上の友だちへ憧れの気持ちをもって遊ぶ。 ②小学校への親しみをもつ。 1年生・・・年下の友だちにやさしく、思いやりをもって関わる。				
	職員	12月交流会議				2月交流会議			保幼小連絡会議3月		保幼小連絡会議5月		6月交流会議
つながりを共有						互いの保育・教育を語り合う							
保幼小連携会議7月 大宝西保育園にて 小学校職員保育体験													

第3ブロック：竜王町立竜王幼稚園・竜王小学校 研究主題：学びに向かう力を育む保育や授業の在り方 ～一人ひとりの自信を育み、主体的・対話的に学ぶ基礎の育成を目指して～

1 主題設定の理由（研究1年目の成果と課題を踏まえて）

これまでの幼小連携の課題を踏まえ、研究1年目である昨年度は、幼小で共通の子どもの見方や育ちの視点をもって保育や授業を考えるために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」に基づき、「自ら学ぶ力」「人と関わる力」「生活する力」の付けたい3つの力に沿った接続期カリキュラムを作成・実践した。また、幼稚園と小学校の教員が繰り返し合同の研修等を実施した。それらの成果として、幼稚園と小学校の教員が子どもの見方や育ちの視点のもち方について一定の共通理解を図ることができた。一方で、さらに多様な形の交流を進めたいと考えたが、校園のカリキュラムの違いもあり実践の難しさも課題として残った。

そこで、研究2年目の本年度は、幼小におけるさらなる滑らかな接続のための実践的な「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」を目指して、その内容の整理・改善を進める。そして、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」と「自ら学ぶ力」「人と関わる力」「生活する力」の「付けたい3つの力の視点」を基に、幼稚園と小学校の教員が実践・協議を重ね、共通の子どもの見方や育ちの視点から考える保育や授業の在り方について理解を深める。



2 研究2年目の目標

- ・アプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへの滑らかな接続について、具体的な内容を考え実践する。
- ・竜王独自の接続期カリキュラムを見直して、次年度につなげる。
- ・幼稚園と小学校の教員が互いの独自性や良さを学び合い、さらなる保育・授業改善に生かす。

3 実践事例

- ◇保幼小接続連絡協議会（5月）
- ◇合同保育研究会（5月）
- ◇5・1交流と事前事後協議会、5・5交流と事前事後協議会（各年間8回）
- ◇アプローチ・スタートカリキュラム協議会（7月、8月、2月）
- ◇合同研修会（8月に2回）
- ◇学びに向かう力推進事業ブロック別研修会（10月）
- ◇教師間の幼小交流（幼稚園保育参加4回、小学校授業研参観7回、小学校入り込み授業（1月））

これらの実践の中で、現在の竜王小学区の子どもたちの姿から、「思いを伝える力」に課題があることを共通理解した。そこで、「思いを伝える力」を育てることをねらいの一つとして保育・授業を組み立てた。また、合同研修の中では、「10の姿」や「付けたい3つの力の視点」をもとにして目指す子どもの姿を共有することで、保育・授業を同じ視点で考え、協議することができた。



互いに保育・授業を参観したことで、小学校の教員は幼稚園の子どもの遊びの中での姿をイメージしながら、授業を組み立てることを意識した。例えば、2年生のかけ算の学習では、幼稚園の時、収穫した野菜の数を数えたり、大きさや重さを比べたりする活動を通して培った数量の感覚が土台となっている。そのことが数量への関心や興味につながっていることを踏まえて、具体物や子どもの身の回りから課題を設定したことで、主体的に学習に取り組むことができた。幼稚園から1年生への接続だけでなく、それらの学びや育ちが2年生、3年生…と積み上げられていくイメージを全ての教員で共有することが大切だと感じた。

また1年生では、昨年度に作成した竜王小学校と竜王幼稚園独自の接続カリキュラムに沿って取組を進めたことによって、幼稚園での学びの上に小学校での学びがあるという視点で子どもの育ちを見取り、幼小の学びのつながりを実感することができた。

4 幼児教育と小学校教育をつなぐ取組や接続期カリキュラムの検証・改善に向けた取組など

接続期カリキュラムについて、5歳児・1年生担任だけでなく、全教職員が共に考えたことで「10の姿」と付けたい3つの力についての理解を深めることができた。また、竜王小学区として目指す子どもの姿を具体的に考え、共有したことで、保育・授業を考える共通の視点として活用することができた。

検証・改善については、5歳児から1年生の活動の姿（写真）を見ながら、幼稚園と小学校の教員と一緒に「10の姿」と「付けたい3つの力の視点」で整理することで、保育で見られる子どもの姿と授業で見られる子どもの姿を、子どもの学びや育ちの流れの中でとらえることができた。

5 研究2年目の成果と課題

1つ目の成果としては、幼小のつなげたい学びを一枚の模造紙の左右にまとめ、左側に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」、右側に「付けたい3つの力の視点」を明記することで、その関わりがより具体的になり、実践に役立てることができたことである。2つ目の成果としては、昨年度に引き続き、今年度も幼小合同で複数回の会議をもち、接続期のカリキュラムについて見直しが行えたことである。中でも入学当初の4週間のスタートカリキュラムについては、「各教科の特質に応じた学びにつなげていくための指導」の在り方を常に意識して取り組み、意義のあるものであることを実感できた。3つ目の成果としては、子どもたちの交流活動はもちろんであるが、教員同士の交流を大切にしてきたことで、密な連携を実現できたことである。互いの保育・授業を参観したり、研修会を合同で開催したり、連絡を常にとったりして連携していくことは今後も大切にしたい。



そして、2年間の研究を通して、より明確で具体的な「目指す子どもの姿」を共有できたことが大きな成果である。幼小のそれぞれの子どもの姿を、合同研修という場で改めて振り返り、共通する課題を見出し、同じ姿を目指して、目の前の子どもを一連の子どもの育ちの中でとらえることができた。簡単なことのようにであるが、幼稚園と小学校の教員が互いの子どもの実態や様子を気軽に話せるような関係が実はとても重要であることがこの2年間で実感できた。

課題としては、学年の子どもたちの半数を保育園の卒園児が占めるようになってきている現状から、幼稚園のみではなく、保育園との連携が重要になっているが、体制の違い等もあり難しさが残るということがある。県外研修で参加した福井県のフォーラムでは、福井県ではどの市町にも幼小連携園内リーダーと市町幼児教育アドバイザーがおり、第三者としての視点や専門的な見地から指導をする体制が整えられていることを知った。幼小連携・接続について、リーダーやアドバイザーが要となって推進しており、そのような立場の人材の活用が今まで以上にできればと考えている。



6 今後に向けて

今年度の接続期カリキュラムを検証し、子どもの実態に応じてよりよいものなるように改善し、さらに活用できるものにしていく必要がある。また、そのカリキュラムを校園の全教員で共有することで、今後の継続的な取組につないでいくことができると考える。そして、将来的には保育園等にも参加を呼び掛けて、一緒に取り組んでいける具体策を検討していきたい。

竜王接続期カリキュラム

		幼児期				
月	4月～5月 【5歳児前期】	6月～7月 【5歳児前期～5歳児中期】	9月～10月 【5歳児中期】	11月～12月 【5歳児後期】	1月～3月 【5歳児後期】	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 進級した喜びや5歳児になったことを喜び、園生活を楽しむ。 友だちや先生と一緒にいろいろな環境に積極的に関わり、遊ぼうとする。 友だちや先生と自分たちの生活を作ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと気持ちを伝え合い、思いを共有して遊ぶ。 気の合う友だちと一緒に遊び方を考えたり、工夫して必要な物を作ったりする。 生活を見直し、自ら進んで健康的な生活をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと力を出し合い試したり、工夫したりしながら遊びを進めていく。 感じたことや考えたことを工夫して様々な方法で表現しようとする。 自分なりの目的を持って遊びや生活に取り組み、努力したり工夫したり挑戦したりして力一杯遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと共通の目的をもって協力し合いながら遊びを進めていく。 試したり工夫したり繰り返し挑戦しながら成就感や満足感を味わう。 行事や生活に見通しを持ち、クラスやグループの友だちと力を合わせて進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとの仲間意識を深め、集団の中で自信をもって生活する。 友だちと協力し合って表現する楽しさを味わう。 友だちと協力したり役割を果たしたりしながら自分たちの生活を作っていこうとする。 	
視点	自ら学ぶ力 <ul style="list-style-type: none"> 思考力の芽生え 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 	<ul style="list-style-type: none"> 草花を見つけて、遊びに取り入れる。 友だちと思いを出し合いながら繰り返し工夫したり試したりして遊ぶ。 絵本や図鑑に関心を寄せる。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し遊びながら、素材の特性を知り、量・色・形など工夫して遊ぶ。 収穫した野菜の数を数えたり重さを測ったり比べたりする。 感じたことや経験したことを相手にわかるように伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思ったことや考えたことを互いに話したり、認め合ったりしながら遊びを進めていく。 イメージにあった素材や用具を選んで遊んだり、工夫して描いたり、作ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 素材の特性が分かり、生かしながら、作りたいものを工夫し作る。 自分の思いや考えを出し合い、目的や遊びのイメージに応じたものを作っていこうとする。 自分の思いを相手にわかるように言葉で表現する。 	
	人と関わる力 <ul style="list-style-type: none"> 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで生活の場を作り、安心して過ごせるようになる。 気の合う友だちを誘って遊ぶ。 3、4歳児に親しみをもち、お手伝いをしたり一緒に遊んだりする。 4歳児のペアの友だちと一緒にサツマイモを植えて、水やりや草むしりのお世話を一緒にする中で思いやりやリードする気持ちを育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちでできることを振り返りながら、生活を見直し進んでやってみようとする。 お泊り保育の内容や必要なもの考えたたり、グループで用意したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと役割を相談し、分担したり役割を果たしたりして、みんなと行動する。 友だちとチーム分けやルールを考え、力を合わせて競い合い、運動遊びを楽しむ。 異年齢の競技の手伝いを張り切ったり、思いやりの気持ちをもってかかわったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面に応じた振る舞いや態度が分かり、トラブルの時などには自分なりの考えをもち、判断しようとする。 友だちと生活する中で、自分で考えながら行動する大切さを知る。 自分たちで作った遊びの場に友だちが来てくれることで、相手の立場になって考えたり動こうとしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 就学する期待感をもちながら、時間を意識して行動したり、見通しを立てながら生活をしたりする。 友だちと互いに考えを出し合いながら、力を合わせて遊びを進めていく。 3、4歳児とのかかわりの中で、自分の成長を実感したり、優しくかかわろうとしたりする。
	生活する力 <ul style="list-style-type: none"> 健康な心と体 社会生活との関わり 自然との関わり・生命尊重 	<ul style="list-style-type: none"> 固定遊具のチャレンジをしながら、体を思いきり使って遊ぶ。 虫探しをし、図鑑を観察したり、調べたり世話をしたりする。 小学校に散歩にでかける。 広瀬さんに田植えの仕方を教えてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜、夏の花の生長に興味をもち、楽しみに世話をする。 体を思いきり使いながら、水遊びなど運動遊びを進んでする。 汗をかいたら水分を補給したり着替えたりするなど、自分で気付いて行く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目当てをもち、運動遊びに挑戦する。 友だちと競い合ったり協力し合ったりして、力いっぱい体を動かす。 公共の場での約束を知り、守って行動する。 自然物を集め遊びに取り入れる。 収穫物をクッキングし、色々な調理方法で食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬の訪れを感じ、周囲の様子や変化に関心をもつ。 風邪の予防(うがい・手洗い・換気)など意味を理解し、自発的に行う。 生活に見通しをもって大掃除をしたり、新年の準備をしたりして、気持ち良くすごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を意識し、1日の見通しを立てて生活をする。 栽培物の成長や日差しの暖かさなどに気づく。 地域の様々な人との出会いやかかわりに、感謝の気持ちをもつ。
主な活動 ◎小学校との交流	始業式・入園式 泥んこ遊び・田植え 園外保育 幼稚園デー ◎5・5交流「幼稚園で一緒に遊ぼう」	◎5・1交流「1年生おかえりなさい」、 小学校音楽会、七夕お楽しみ会、プール掃除、 泡・砂・泥・水遊び、夏野菜・ 夏の花の栽培と収穫、お泊り保育	始業式 運動遊び、リレー、マット引き、 ドッジボールなど集団遊び、 社会見学、園外保育、 稲刈り、脱穀、サツマイモの収穫 ◎5・1交流「小学校で遊ぼう！」	なかよし月間、焼き芋パーティー、 父ちゃんずデー(雪の山登り)、 ◎5・1交流(秋の自然と触れ合っ)、 竜小祭り、作品展、 クリスマスお楽しみ会、ジョギング	お正月遊びの会、劇遊び、 ジョギング、ありがとうの会、 ◎1日体験入学 ◎なかよし下校、 卒園式	
小学校に向けての気持ち	「大きい組になって、嬉しいな。」 「ドキドキするけど、お兄さんお姉さんと一緒に遊べるの楽しいな。」 (5・5交流)	久しぶりに一緒に遊べて楽しいな。 (5・1交流) 「大きなステージで歌えたよ。」(音楽会)	「小学校で遊ぶの楽しいな。一緒に遊べて嬉しい。ドングリを使ったやじるべえを教えてもらったよ。しっぽり楽しいな。」	「小学校って、こんなところなんだな。楽しそうだな。」	「いろいろなことができるようになったよ。」 「学校まで歩けるかな。練習しよう。」 「もうすぐ1年生。ドキドキするな。」	
子どもへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> 不安や戸惑いから遊びが見つかりにくい子どももいるので、教師が遊びに誘いゆくり関わりながら、安心して自分らしさが出せる場を作っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのイメージが遊びの中で実現していくよう、色々な材料を用意したりアイデアを出したりする。 一人一人の良さや頑張りを認め、周りの友だちに伝えていき、互いを認め合えるような仲間作りができるように支えていく。 うまくいかなかったときは、仲間と一緒に考える過程を大切にしていき、自分たちで達成できた喜びや心地よさを感じられるようにしていく。 自分たちの考えや、できることを引き出していきながら、自信をもって仲間と生活を送れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校への期待が膨らんでいるが、一方で戸惑いや不安な気持ちも受け止めながら、安心や自信につながるようにする。 			
家庭・地域との連携 ＜家庭○・地域☆＞	○連絡帳やお便りの活用 ○家庭訪問 ○幼稚園デー(PTA 総会) ☆田植え体験	○保育参観 ○1学期末懇談会 ☆平和堂への材料買い出し	○保育参加 ☆お米の収穫体験	☆地域の方との焼き芋 ○自由参観日 ☆就学時検診 ○個別懇談会 ☆もちつき	☆地域の方とありがとうの会 ○入学説明会 ○卒園式	

小学校入学期	
月	小学校入学～4週間（スタートカリキュラム）
ねらい	・小学校での新しい生活に自分らしさを発揮し、仲間と一緒に生活や学習にのびのびと取り組む。
自ら学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に興味や関心をもち、疑問に思ったことに対して主体的に解決しようとする。 ⇒国語科「おおきなかぶ」課題解決型学習 ・自分が伝えたいことを、みんなの前で、丁寧な言葉遣いで話すことができる。 ⇒発言の仕方（つなぎ言葉、反応） 国語科「あいうえおのうた」（グループ） 国語科「おおきなかぶ」課題解決型学習 生活科「見つけたことを伝えよう」個人 学級会 クラス会議 ・1から10までのものの個数を数えることができる。 ⇒算数科「10までの数」算数セット（具体物を使用） ・音楽に合わせて体を動かしながら、友だちと遊ぶことができる。 ⇒音楽科「ぞうさん」「しろくまのジェンガ」 ・自分の好きなものや伝えたい出来事などをクレパスで描くことができる。 ⇒図画工作科「太陽を描こう」「すきなものなあに」「歯のポスター」「せんせいあのね」
人と関わる力	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に慣れ、安心できるとともに、楽しく学習しようとする意欲をもてるようにする。 ・「1年生を迎える会」など目的に向かって、自分の力を発揮しながら友だちと協力して取り組むことができる。 ⇒校歌、リレー、生活科先生インタビュー、音楽会（斉唱、合奏、寸劇）、給食の配膳、掃除 ・相手の気持ちを考えたり、自分の振るまいを振り返ったりすることを通して、ルールをつくったり、ルールを守ったりして学校生活を楽しくしていこうとする。 ⇒道徳科
生活する力	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気をつけて学校生活を送ることができる。 ⇒道徳科、学級指導、生活科、交通安全教室 ・運動遊びや休み時間などの外遊びを通して、のびのびと行動することができる。 ⇒体育科遊具で遊ぼう、P A、リレー、体力テストの練習、生活科水遊び・砂遊び、普段の休み時間（遊具・ビオトープ） ・相手の状況や気持ちを考えながらいろいろな人と関わることを楽しむことができる。 ⇒道徳、学級指導、P A ・校舎地図などの掲示物を活用し、学習に必要な情報を見つけることができる。 ⇒生活科6年生との学校案内、学校探検 ・自分たちの生活に関わりのある地域の人に進んで挨拶をする。 ⇒スクールガードさん、交通安全教室での警察官、食育指導、歯科検診 ・自然の事物や現象について関心をもち、積極的に関わるができる。 ⇒生活科朝顔の観察、サツマイモの苗植え、動植物の観察
主な活動	入学式、学校探検、1年生を迎える会
子どもへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園での経験や学びを生かす。 ・安心できる環境づくりをする。 ・発達を踏まえた時間割や学習活動を工夫する。 ⇒スタートタイム（朝の準備、引き出しやロッカーや下駄箱の整理整頓指導）、わくわくタイム（清掃指導、クラス会議）
家庭・地域との連携 <家庭○・地域☆>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校便りの配布 ○入学式（1年間の見通し） ○P T A総会 ○学級懇談会 ☆学校便りの回覧・配布 ☆スクールガードさんへの挨拶

研究主題：心豊かにたくましく つながり学ぶ多賀の子

～自ら学び高め合う子どもの育成～

1 主題設定の理由（研究1年目の成果と課題を踏まえて）

本町には、町内に1中学校2小学校と、保育園、こども園、幼稚園の6校園があり、校種間の連携を大切にしながら「未来にはばたくことができる、心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に教育の推進を図っている。校種間の連携については、『知・徳・体』を大柱とした子どもたちに付けたい力の具現化に向けて「学習づくり」「集団づくり」「生活習慣づくり」の3つの柱を設け、町全体で一体的な取組を進めている。また、10年来、「幼小中連携 言の葉教育」として、言語活動を大切に研究に取り組んでいる。本事業においても、これまでの多賀町における取組を礎にしながら、多賀幼稚園年長児と多賀小学校低学年を中心に多賀小学校区の子どもの幼児期から児童期への滑らかな接続を目指して研究を進めてきた。本町の子どもたちは、自ら働きかける力に課題が見られ、主体的な学びの姿を求めているところである。特に、自分の思いを表現する力が育っていないことが、幼稚園、小学校における共通した課題である。

そこで、幼児期の遊びや生活を通した学びと育ちを基本として、小学校で主体的に自己を発揮し自ら学び高め合う力を育む教育課程の創造を図ることを目標に、昨年度研究1年目は幼稚園の年長期と小学校の入学期における接続カリキュラムを作成した。2年目の今年度は作成したカリキュラムを実践し、検証・改善を進めていく。また、子どもたちはもとより教員の交流、連携を図り、ねらいを共にした教育を実践することによって、自分の思いを自分の言葉で発信し、友達と共に高め合い、学びを深めている子どもの育成を目指している。なお、町内の保育園・こども園の年長児についても、カリキュラムを共有し、体験交流を幼稚園と同様に進めていく。

2 研究2年目の目標

- ・多賀幼稚園 「わくわくいきいき 輝く子ども」
～いろいろな環境に自ら関わり、夢中になって遊び込める子どもの育成を目指して～
- ・多賀小学校 「自ら豊かな心を求め、よりよく生きることができる子どもの育成」
～自ら考え、表現できる子の育成を目指して～

3 実践事例

5歳児・1年生交流（業間交流、おもちゃまつり）や5歳児・5年生交流（給食交流）、運動会新入児レース、1日入学など、子どもたちが交流する場を設定した。5歳児・1年生交流では「じゃんけん列車」や「どんぐりころがし」などいろいろなゲームの説明を1年生がすることで5歳児をリードしながら、一緒にゲームを楽しんだ。



みんなでじゃんけん列車！
長い列車ができて
おもしろいな！



大きい魚を狙おう！
応援してくれて
うれしいな。
優しいな！



もうちょっとで
釣れそう！
がんばれ！！

一緒に持って
行こうね。
ゆっくり
歩こう！

・業間交流(5歳児と1年生)

・おもちゃ祭り(5歳児と1年生)

・給食交流(5歳児と5年生)



カップや手の上に
乗せて遊ぶよ！

ゆっくり
持ったら
落ちないよ。



ゆらゆら揺れて
おもしろい！

あさがおの種を
もらったよ！



お手紙が入ってる！
「1年生になったら
あさがお、育ててね」
って書いてる！

4 幼児教育と小学校教育をつなぐ取組や接続期カリキュラムの検証・改善に向けた取組

幼稚園、小学校がそれぞれに校内研究を進めていく中で、幼小の連携・接続の観点を取り入れて研究を進めてきた。子どもたちの交流だけでなく、教員も講師を招いての研修会や授業研究、多賀小学校区の子どもを語る会等を開催し、情報を交換し、共有した。多賀の子どもたちが、主体的に友達と関わりながら学び合う姿が見られるよう、教員同士も校種を越えたつながりを持ちながら研究を進めた。5月には、1年生の授業公開後、幼稚園・保育園の保育者と小学校1年生担任が連絡会で情報を共有した。また、7月末には、小学校教員が保育実習をして保育園の様子を知る機会をもった。8月には、保幼小の職員が集まって「多賀小学校区子どもを語る会」を開催した。お互いの実践を交流し、みんなで一つの掲示物を作成しながら「目指す子ども像」の共通理解を図った。秋には11月のブロック別研修会に向けた合同研修会を行い、研究を深め、2年間の研究成果を県内の教職員に広く発信することができた。



・作成した掲示物

5 研究2年目の成果と課題

- ・アプローチ・スタートカリキュラムを実践し、検証・改善を進めることができた。研究を通して、特に低学年の担任の幼小のつながりに対する意識は高まったので、今後、他学年の担任についても共通理解を広げていく必要がある。
- ・これまでの交流に加えて、夏休みに保幼小の職員が集まり、『多賀小学校区の子どもを語る会』を開催した。保幼小の職員が入り交じったグループで、ブロック別研修会の準備（写真などを使ったパネル作成）をしながら、子どもの姿や実態、各校園の取組状況などを交流した。和やかな雰囲気の中、共通する課題や今後の連携の在り方について話し合うことができた。
- ・小学校教員が、保育園において1日保育体験を行うことで、保育園での保育の様子、支援の方法を知り、小学校での学習活動に生かすことができた。入学児童の大半が保育園卒園児であることから、保育園との連携をしていく必要があるが、時間の設定が難しく、今後の課題である。
- ・小学校では、学習指導要領に示された各教科等の資質・能力を授業の中で育成していくが、子ども主体の学習活動にしていくためには、先を見通し、教科横断的なカリキュラムの編成が必要である。
- ・幼稚園では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、夢中になって遊ぶ姿から資質・能力をとらえ、学びが広がり深まっていくための日々の環境構成や援助の在り方、一人ひとりの学びや育ちを支える見取りについて深く探ることができた。また、子どもが夢中になって遊び込めることが、小学校以降の学びに向かう力の素地となることが分かった。
- ・幼稚園では、子どもが主体的に遊べるような環境構成を深化させることで、子どもに多くの経験を積ませたい。「やってみよう。やってみよう。もっとやってみよう。」と夢中になって遊び込み、豊かに学べるよう、保育者間での振り返りや話し合いを充実させ、園の教育力を高めていきたい。
- ・幼小の連携・接続をきっかけとして、校種を超えた教職員同士の学び合いが進んできた。今後も互いの保育・授業のよさを学び合い、さらなる保育改善・授業改善を進めていきたい。

6 今後に向けて

就学前に付けてきた力を小学校の教育課程の中でいかに取り入れ、さらに個々のよさを生かしながら伸ばしていくための手立てを継続して考えていきたい。そのためには、関連させられる教科や単元を見通して、学習活動を仕組んでいくことが重要になる。今年度改善したスタートカリキュラムを次年度以降も実践し、検証・改善することでさらによりよいものにしていく。また、「子どもを語る会」などの保幼小の交流を継続し、多賀町の幼小中「言の葉」連携教育と関連付けた取組として進めていきたい。

	めあて	活動	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	めあて	活動
<p>知</p> <p>【頭を鍛える】 *考え、話し合いを通して深い学びのある学習を追究する。</p>	<p>■興味や関心をもって活動する</p> <p>○生活や遊びを通して気付いたり知ったりしたことを遊びの中に取り入れ工夫し経験を広げる。</p> <p>○身近な「人・こと・もの」への関心が高まり、様々なもののおもしろさ、不思議さ、美しさに感動する。</p> <p>○生活や遊びを通して、数えたり、比べたり、組み合わせたりしながら、物の数量や長短、広さや深さ、速さ、図形に関心を深める。</p> <p>○栽培活動を通して、生長や収穫の喜びを味わう。</p> <p>■伝え合う楽しさを味わう</p> <p>○自分が経験したこと、考えたことなどを適切な言葉で表現し積極的に伝え合う。</p> <p>○文字で伝えることの楽しさに気づき、生活の中で文字を読んだり、書いたりすることを楽しむ。</p> <p>○話を最後まで聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊び ・表現遊び ・絵本や物語等に親しむ。 ・生活、遊びの振り返り活動 ・制作遊び ・構成遊び ・砂遊び、泥団子作り、色水遊び ・自然物を使った遊び ・一人一鉢栽培 ・クッキング <ul style="list-style-type: none"> ・暗唱 ・お休み調べ ・文字を使った遊び（お手紙ごっこ、郵便屋さんごっこ、カルタ、トランプ、絵合わせカード、すごろく等） ・「いま、どんなきもち？」カードを用いて振り返り 	<p>豊かな感性と表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや思い巡らしたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりするようになる。 <p>数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりして、数量・図形、文字への関心・感覚が高まるようになる。 <p>自然との関わり・生命尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の触れて感動する体験を通して、身近な事象への関心が高まったり、自然への愛情や畏敬の念をもったりするようになる。 <p>思考力の芽生え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いを巡らし予想したり、工夫したりするなど多様な関わりを楽しみ、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。 <p>言葉による伝え合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を通して先生や友だちと心を通わせ、豊かな言葉や表現を身に付けるとともに、思い巡らしたことなどを言葉で表現して楽しむようになる。 	<p>○内容を捉えながら読む。</p> <p>○読み聞かせを想像を膨らませ楽しみながら聞く。</p> <p>○経験したことや気付いたこと、好きなことなどを話す。</p> <p>○数に興味をもち、順番や物の数を、数字を使って表す。</p> <p>○文字に興味をもち、ひらがなで言葉や簡単な文を書く。</p> <p>○自然に興味をもち、自然との関わりを楽しむ。</p> <p>○答えを予想し、ブロックなどを使って、計算の仕方を考える。</p> <p>○めあてや学習の流れを意識して授業を受ける。</p> <p>○話す人を見て最後まで聞く。</p> <p>○自分の思いを話す。</p> <p>○考えや気持ちを伝え合う。</p> <p>○自分の思いを伝えながら相手の気持ちを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文字のまとまりを意識して読む。 ・図工「すきなものなあに」 ・「学校探検で見つけたよ」 <ul style="list-style-type: none"> ・数字と数の1対1対応 ・具体物や半具体物の活用 ・書字指導 ・生活科の観察カード ・鉛筆ホルダーの使用 ・名前をひらがなで書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・裏山遊び ・水遊び ・アサガオの観察 ・春みつけ ・栽培活動 ・飼育活動 <ul style="list-style-type: none"> ・たしざん ・ひきざん ・しらべよう <ul style="list-style-type: none"> ・聞く時は、体の向きを変えて聞く。 ・「上手な聞き方」掲示物の活用 ・話し方のモデルに則して話す。 ・「上手な話し方」掲示物の活用 ・ペアやグループでの話し合い活動 ・ペア学習、グループ学習 ・絵日記
<p>徳</p> <p>【心を鍛える】 *あいさつ・つながる仲間づくりを通して思いやりの心、豊かな人間関係を構築する。</p>	<p>■思いやりの心をもって人と関わる</p> <p>○自分の気持ちを調整し、友だちと折り合いをつけようとする。</p> <p>○友だちを大切にすることができる。</p> <p>○共通の目的に向かって取り組む中で、みんなで協力し合ったり達成感や充実感を味わう。</p> <p>○ルールや時間を守る大切さを意識して主体的に行動する。</p> <p>○友だちとの関わりの中で、善いことや悪いことを判断し行動する。</p> <p>○自分と関係の深い人とのふれあいの中で、自分が役にたつ喜びを感じて行動する。</p> <p>○自分たちの生活や遊びをよりよくするために、どうしたらよいかを考えて、友だちと一緒に行動する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 ・集団遊び（鬼ごっこ、ドッチボール、サッカー等） ・ゲーム遊び（フールツバスケ、いすとりゲーム等） ・ふれあい遊び、わらべうた遊び ・行事に参加する。 ・いろいろな行事の司会 ・わくわくタイム ・祖父母ふれあい活動 ・異年齢との遊び ・保幼小交流 	<p>道徳性・規範意識の芽生え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するとともに、自分の気持ちを調整し、友だちと折り合いを付けながら、きまりをつくったり守ったりするようになる。 <p>協同性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの思いや考えなどを共有し、工夫したり、協力したりする充実感を味わいながらやり遂げるようになる。 <p>社会生活との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族を大切にしようとする気持ちをもったり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に一層の親しみをもったりするようになる。 	<p>○あいさつを自分から言う。</p> <p>○みんなで使う場所や物を大切にすること。</p> <p>○きまりや約束を守る。</p> <p>○場や相手に応じた言葉遣いで話す。</p> <p>○命の大切さに気づき、愛情をもって育てる。</p> <p>○仲間と相談したり分担したりして活動する。</p> <p>○みんなのためにする活動を楽しみながらする。</p> <p>○仲よく、思いやりをもって行動する。</p> <p>○みんなで楽しくするよさに気付く。</p> <p>○仕事に進んで取り組む。</p> <p>○学級活動などで話し合いで、よりよい生活をつくり出す。</p> <p>○多賀のまち、学校のよさを知り、好きになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の学習 ・あいさつの仕方 ・トイレの使い方 ・授業では「です」「ます」を使って話す。 ・プリントの渡し方 ・多賀小「みんなのくらしのやくそく」 <ul style="list-style-type: none"> ・当番活動、係活動、掃除 ・全校たてわり活動、2年生や年長児との交流 ・ペアやグループでの話し合い活動 <ul style="list-style-type: none"> ・学校探検 ・体を動かして歌あそび ・日直や当番活動 ・地域の人への感謝の気持ち ・あくしゅ大作戦 ・名刺交換 ・「〇〇屋さんを開こう」 ・休み時間の全員遊び
<p>体</p> <p>【体を鍛える】 *家庭と連携しながら自立して生活ができる心身ともに元気な子を育成する。</p>	<p>■心身ともに元気に生活する。</p> <p>○全身を使って思い切り遊ぶ</p> <p>○あきらめずに最後までやり遂げようとする。</p> <p>○自分の目標に向かって努力し、達成したことを喜び、就学への自信をもつ。</p> <p>○安全に必要な基本的な習慣を身に付け、危険なことを理解して行動する。</p> <p>○楽しく食事ができることに喜びや感謝の気持ちをもつ。</p> <p>○生活に必要な活動の大切さに気づき、進んで行う。</p> <p>○生活リズムを確立し、見通しをもって生活する。</p> <p>○自分たちの遊びや生活の場を自ら準備したり、進んで整えたりする。</p> <p>○身の回りの整理整頓ができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン、鉄棒、雲梯、縄跳び、平均台、サーキット遊び等） ・姿勢保持のため全身を鍛える。（椅子に座って話を聞く、運動遊び、雑巾がけなど） ・椅子に座って活動する。（絵を描く、制作をするなど） ・当番活動 ・交通安全教室、避難訓練 ・健康診断、身体測定 ・元気ツズ調べ ・手洗い、うがい、はみがき、フッ素洗口 ・時計を見て行動する。 ・片付け、掃除をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の片付けをする。 	<p>健康な心と体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実感や満足感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら取り組むようになる。 <p>自立心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でしなければならないことを自覚して行い、諦めずにやり遂げることで満足感や達成感を味わいながら、自信をもって行動するようになる。 	<p>○様々な動きを経験し、楽しく運動する。</p> <p>○友だちと競い合うなどして、仲よく運動する。</p> <p>○めあてをもって取り組む。</p> <p>○安全に気を付けて行動する。</p> <p>○病気の予防の必要性を知って行動する。</p> <p>○自分の体調の変化に気づいて知らせる。</p> <p>○給食の身支度を整え、友だちと協力して配膳や片付けをする。</p> <p>○食事に関するきまりを守り、好き嫌いなく食べる。</p> <p>○授業と休み時間の区別をつけて、学習に集中する。</p> <p>○時間内に、自分の持ち物を用意したり片付けたりする。</p> <p>○身の回りの整理整頓をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の運動遊び、業間の運動遊び ・休み時間の全員遊び <ul style="list-style-type: none"> ・遊具や運動用具の活用と注意 ・集団登下校 ・手洗い、うがい、はみがき、フッ素洗口 ・健康観察で体調を伝える。 ・給食当番の仕事 <ul style="list-style-type: none"> ・チャイムの合図で行動する。 ・学校生活の流れを捉えさせる。 ・授業中の座り方、立ち方 ・朝の用意、帰りの用意 ・宿題、提出物、連絡帳を出す。

第5ブロック：長浜市立とらひめ認定こども園・虎姫小学校
研究主題：学びの連続性を踏まえた保育・教育の創造
 ～接続期における伝え合う力の育成～

1 主題設定の理由（研究1年目の成果と課題を踏まえて）

虎姫小学校区の子どもたちは、大変明るくて人懐っこく、また好奇心旺盛な子が多い。しかし、コミュニケーション力の弱さがこども園・小学校の共通の課題となっている。自分の思いを言葉で表現したり、怒りや悲しみの感情をコントロールしたりする力が弱く、トラブルや友だち関係に影響を及ぼしている。また、スマホ、ゲームの普及や少子化などにより、人やものへの関わり方が分からない子が増え、自分から遊び出す子が減少する傾向にある。体力面においても、地域や家庭で体を動かして遊ぶ場や時間が少なくなっているため、転んでも手を付けない、手指の力が弱いなどの課題がある。

このことから、研究1年目は幼小連携・接続に関わり、「学びの力・関わり合いの力・体の力」に焦点を当て、子どもが心も体もわくわくさせながら自ら動き出せるような環境や支援の在り方を研究してきた。接続を意識した教育課程を編成していく中で、こども園と小学校の教員が互いのよさを学び合い、また新たな発見をし、互いの保育・授業の改善につなげることができた。また、子どもたちが自ら体を動かして遊ぶ楽しさを味わうことで、多くの学びがあり、小学校の学習の基盤や仲間づくりにつながり、主体的にのびのびと行動する力を育ててきた。しかしながら、先に述べた共通の課題であるコミュニケーション力の弱さについては、改善があまり見られない現状があった。来年度、小中一貫教育校「虎姫学園」として開校を予定している小学校と中学校とが「伝え合う力」を視点とした合同研究を行っていることもあり、研究2年目の今年度は、テーマをさらに絞り込み、「伝え合う力」に焦点を当てた研究を進めることにした。

2 研究2年目の目標

幼児教育と小学校教育をつなぐ保育・授業の共通の視点として「伝え合う力」に焦点を当てて、作成した接続カリキュラムを検証・改善する。また、園児・児童の実態に応じて、0歳児から6年生までの12年間の「伝え合う力を育むカリキュラム（資料参照）」を作成し、これをもとに実践することで、12年間の学びのつながりを意識して育てたい子ども像や付けたい力を明確にしていく。

3 実践事例（園児と児童の交流についてのドキュメンテーション）

5月31日（金）出合いの会
 1年生児童が作った名札を自分のペアになる園児にプレゼントし、互いに自己紹介をしました。（この1年間、このペアで活動を行います。）その後、ペアでふれあい遊びをして楽しみました。

6月17日（月）学校探検
 探検カードをもって1年生がペアの園児と相談しながら小学校の探検をしました。たくさんの先生や上級生にも出合い、学校への親しみが生まれました。1年生教室では勉強ごっこをしている姿もありました。

9月10日（火）体を動かして遊ぼう
 こども園の遊戯室で忍者遊びをしました。4つの術があり、それぞれクリアするとスタンプがもらえます。ペアの友だちにアドバイスしたり、応援したりする姿が見られました。



10月11日（金）秋を見つけに行こう

近くの虎御前山に秋を見つけに出かけました。どんぐりがたくさんある場所では、ペアで協力しながらとりました。また、集めた物から気づいたことや感じたことを楽しそうに伝え合う姿も見られました。

10月17日（木）相談しよう

山で見つけたどんぐり、松ぼっくり、落ち葉などを使って、何が作れるのかを考えました。見本を見ながらペアで相談したり、家から持ってくる物を考えたりしながら交流することができました。

10月21日（月）～24日（木）作ろう

いくつかのペアが協力合って、工夫を凝らしながらお店屋さんの準備を楽しそうに進めていました。いろんなアイデアを互いに伝え合いながら、また、分からないところは質問しながら活動できました。

10月30日（水）「わくわくどきどき 秋がいっぱい」～あきのおみせやさんをひらこう～

ペアの友だちと相談しながらお店をまわったり、お店屋さんになって遊びの誘いや説明をしたりしました。いろいろなお店屋さんに興味をもって遊ぶことや、お店屋さんとお客さんになってやりとりをすることを楽しみました。困ったことや嬉しいことなど感じたことをペアの友だちや同じ店の友だちに伝えることもできました。



4 幼児教育と小学校教育をつなぐ取組や接続期カリキュラムの検証・改善に向けた取組など

- ・接続カリキュラムについては、毎年見直しが必要であり、そのための合同の協議会を年度末や年度当初に行う必要がある。また、環境づくりや援助について、継続して検証・改善していくことが大切である。
- ・作成した0歳児から6年生までの「伝え合う力を育むカリキュラム」を各発達段階の指導計画に反映させ、12年間の学びのつながりを意識した実践に取り組む。

5 研究2年目の成果と課題

- ・合同で打ち合わせ、実践、反省を重ね、互いの保育や授業について話し合いながら研究を進めた。
- ・研究テーマの「伝え合う力」について、意識しながら保育・授業をしていたが、その日どの子が一番伝えようとしていたのか、どの場面で伝え合う姿が見られたのかを具体的に見ていく必要がある。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を意識した環境づくりや援助が十分でなかったため、接続期カリキュラムの中で「10の姿」を踏まえて、子どもの学びや育ちを丁寧に見取っていく。

6 今後に向けて

- ・さらなる滑らかな接続を目指し、園と小学校が連携して子どもの学びや育ちを伝えていく必要がある。
- ・幼児教育と小学校教育の接続カリキュラム、「伝え合う力を育むカリキュラム」を作成したが、各発達段階で実践した結果を検証し、改善していくことが大切である。（PDCAサイクルで）
- ・来年度は小中一貫教育校「虎姫学園」の開校となる。こども園での「学びの基礎」をなめらかに接続し、連続性のある体系的な学びとなるよう、0歳から15歳までの学びをつないでいくため、学園・こども園全体で共通理解をしていくことが大切である。
- ・その日の遊びを振り返り、「今日の〇〇ちゃんのこんなところよかったね」と学んだことを教師が具体的に言葉にして全員に伝えることでその子の自尊感情が高めていくことを研修会にお招きした大学教授から学んだので今後には生かしていきたい。

期	接続前期			接続中期-1			接続中期-2			接続後期			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~ GW			GW ~ 7月			
発達過程 (幼児児童の発達過程)	みんなと一緒にあったよ			うれしいな もうすぐ 一年生			なかよし いっぱい			学校 だいすき			
各期に見られる特徴的な姿 (指導計画より抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友だちと同じめあてを持って遊ぶ中で、友だちのよさに気づいたり、友だちを認めたりしながら、一緒に遊びをすすめていくとする。 ・遊びに応じて必要な表示を考えたり、文字や数字を積極的に取り入れたりする。 ・生活の場に応じた言葉の使い方や表現の仕方がわかり使おうとする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが自信をもって生活をすすめていく時期 			<ul style="list-style-type: none"> ・新しい先生や友だちと関わる中で、入学した喜びを感じ、意欲的に学校生活を送ろうとする時期 			<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活に慣れ、安心し先生や友だちと遊びや生活をしようとする時期 			
生きる力と学ぶ力の基礎	遊びや活動を通して学んでいく教育課程									「安心」「成長」「自立」をめざして時間割や学習活動を工夫する			
	まなびの力	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したこと、感じたこと、考えたこと、イメージしたことなどを様々な方法で表現する。 ・季節の変化に関心を持ち、遊びに取り入れたり調べたりする。 ・遊びに使う簡単な標識や文字、数字に興味をもったり使ったりする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・自然のもつ美しさや不思議さなど、様々な事象に関心を持ち発見したり、考えたり、試したりして遊びに取り入れる。 ・話している人に気持ちを向け、自分の経験と重ね合わせながら、関心をもって話を聞く。 ・生活の中の様々なものに主体的にかかわり、いろいろな方法でのびのびと表現することを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・学校の生き物や身近な自然に触れ、感じたことや気づいたことを表現しようとする。 ・思いを表現したり、新しい知識を得たり、発見の楽しさを感じたりしながら学習する。 ・幼児期の経験を基にしながら、自分でできることや新しいことに取り組もうとする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活に慣れ、必要な生活・学習習慣や技能を身につけ、学習等をするようになる。 ・学習や生活の場面での様々な課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとする。 ・1年生になってできるようになったことが増えたという喜びを味わい、自信を持って学習等に取り組もうとする。 		
	かかわりの力	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと共通のめあてに向けて遊ぶ中で、一緒にすすめていく楽しさ、やり遂げた満足感を味わう。 ・友だちのよさに気づいたり認めたりしながら遊びを楽しむ。 ・よいことや悪いことを自分で考えて行動する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・共通の目的や課題に向かって友だちと一緒に力を合わせ、やり遂げる喜びを味わう。 ・自分のことを認めてもらう経験を通して、自信をもって行動する。 ・交流などを通して小学生と触れ合い小学校を身近に感じる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・友だちに親しみをもって接し、上級生にあこがれの気持ちを持って接する。 ・先生など学校生活を支えている人々や友だちなどに関心を持ち、楽しく学校生活を送る。 ・気持ちのよい挨拶や返事、相手を考えて言葉遣いに心がける。 			<ul style="list-style-type: none"> ・園児や地域の人などに思いやりや感謝の気持ちをもって接する。 ・友だちと仲良くし、助け合う。 ・集団の一員として、適切に行動しようとする。 ・自分の物だけでなく、他の物も大事にしようとする。 ・学校生活を支えている人々に関心を持って関わり、感謝の気持ちをもつ。 		
からだの力	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動遊びに進んで取り組み、体を十分に動かすことの心地よさを感じる。 ・健康な生活、食事の大切さなどを知り、自分の体への関心をもつ。 ・いろいろな人や物に感謝の気持ちをもって食べる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと誘い合い、寒さに負けず意識的に戸外での遊びを楽しむ。 ・時間を意識しながら生活に見通しをもち、場や状況に応じて行動する。 ・自分で判断し、安全に気をつけて行動する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間には運動場で遊ぶなど、丈夫な体をつくり、病気の予防につとめるようにする。 ・食事の大切さを学び、給食の配膳や後片付けができ、給食を楽しもうとする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動や新しい体の動きに興味を持ち、楽しんで運動に挑戦しようとする。 ・いろいろな食べ物や栄養に関心を持ち、好き嫌いをなく食べようとする。 			
主な遊びや活動と教科のつながり	健康	運動遊び(リレー・側転・長縄・大波小波・鉄棒・前回り・雲梯)→(雪遊び・風揚げ・前転・長縄・郵便屋さん・短縄・前とび・跳び箱)→ 集団遊び(ドッチボール・フルーツバスケット・いす取りゲーム・鬼ごっこ:氷鬼・色鬼他・はないちもんめ)→ 元氣もりもりタイム(体操・マラソン/通年)→ 生活習慣(あいさつ・手洗い・うがい・歯みがき・箸の持ち方・食事の姿勢・マナー・身だしなみ他)→											
	人間	ごっこ遊び(運動会・ハロウィン・お店屋さん・クリスマス・もちつき)→(郵便屋さん・学校ごっこ)→ 異年齢児交流(仲良しタイム・4歳児とのペア活動:いもほり・飼育活動)→(誕生会・お別れ会)→ 虎姫高校生との交流(芋ほり・園外保育:中野山) 虎姫中学生との交流(手作り絵本読み聞かせ) デイサービスの訪問(ふれあい遊び 通年)											
	環境	自然に触れる(小動物を探す・飼育する・園外保育・木の実、木の葉を使って遊ぶ)→(雪、氷を使って遊ぶ)→(春さがし)→ 野菜の栽培(収穫)→(クッキング)→(種まき) 行事(交通安全集会・遠足・いもほり・クリスマス・もちつき・お正月(たこあげ・こま・カルタ大会等)・節分・ひなまつり・卒園式)→											
	言葉	あのおタイム(朝の会・帰りの会・あそびの振り返り/通年)→ 手あそび・歌を歌う 絵本・紙芝居を見る・読む 年賀状(自分の名まえを書く)→カルタ・トランプ・すごろく・カード遊び→ 行事の司会をする(誕生会・クリスマス会等)→ さわやかタイム(フラッシュカード等/通年)・英語であそぼう(月1回)・お話し(月1回程度)→											
	表現	絵画(ペン・クレパス・絵の具・コンテ等)→ 製作遊び(紙・箱・発砲・木材・粘土・自然物等)→クリスマス製作→風製作→編み物遊び→卒園製作→ 歌を歌う→楽器遊び(ハンドベル・鈴他)→合奏(ピアノカ・打楽器他)→劇遊び(ことば遊び、お面作り、ごっこ遊び、大道具、小道具作り)→											
	体育	たのしくあそぼう(遊具や器械・器具 遊び方を楽しむ 競争 きまりを守る) からだほぐしのうんどう(体を動かすことの気持ちよさ 楽しく運動する)											
道徳	たのしいがっこう(よりよい学校生活、集団生活の充実) ありがとう(感謝) あいさつ(礼儀) ぞうさんとともだち(友情、信頼) はしのうえのおおかみ(親切、思いやり)												
生活	がっこうにいこう(登下校のルール、学校生活のルール、自己紹介) がっこうたんけん(校舎内の探検、学校の先生や上級生、校庭の動植物) たねをまこう(花の種をまき観察する)												
算数	かずとすうじ(数の概念、数の合成と分解) なんばんめ(上下、左右、前後の順序数) いろいろなかたち(箱などによる形遊び) たしざん(増加の場面理解) ひきざん(求差の場面理解)												
国語	はる(絵を見てわかったことを話す) あかるいこえで(場面に合わせてあいさつする) どうぞよろしく(自己紹介) うたにあわせてあいさつ(あいさつに親しむ)												
図工	おひさまにこにこ(クレパス、自分の好きな色でかく) すきなものなあに(クレパス、ペン 線や面を工夫する) みんなでかざろう(はさみ、紙の折り方や切り方) ねんどでつみき(粘土、いろいろな形を想像する)												
音楽	うたでなかよしになろう(友だちと一緒に歌う、身体表現する) はくをかんにとろう(身体表現する、拍の流れを感じる) はくにかんじとろう(リズムの違いを感じる)												
園小連携・交流	子ども	園小連携:5歳児と1年生の交流 ③9月『一緒に体を動かそう!』柳澤運動遊び(園) ④10月『自然物を集めよう!』園外保育・校外学習(中野山) ⑤10月『お店屋さんの相談をしよう!』(小学校) ⑥~⑨10月『必要な物を作ろう!』(小学校) ⑩⑪10月『お店屋さんごっこをしよう!』(小学校) ⑫11月『片づけをしよう!』(小学校)			一日入学 1月			園小連携:5歳児と1年生の交流 ①5月『出合いの会』ペア紹介・ふれあい遊び(園) ②6月『学校探検をしよう!』小学校探検(小学校)			1年生授業参観 6月		
	職員	5, 5交流:5歳児と5年生の交流 ②9月 稲刈りの見学→③11月 おにぎりパーティ(小学校)			園小連携会議(年間の反省・まとめ)			5, 5交流:5歳児と5年生の交流 ①5月 田植え→			園小連携会議(①反省②計画・準備) 園小連携会議(②反省③計画・準備) 5, 5交流会議(①反省)		
		園小連携会議(③~⑫計画・準備・反省)			園小連携会議(年間の反省・まとめ)			園小連携会議(年間計画) 園小連携会議(ペア決め・①計画・準備) 5, 5交流会議(年間計画・①計画・準備)			園小連携会議(①反省②計画・準備) 園小連携会議(②反省③計画・準備) 5, 5交流会議(①反省)		
		5, 5交流会議(②③計画・準備・反省)			園小連携会議(年間の反省・まとめ)			虎姫新転任職員研修 4月(園・小・中学新転任職員) 虎姫の子を語る会 5月(園・小・中学新転任職員)			実践交流会 ③6月 園公開保育 園小連絡会 6月		
実践交流会 (公開授業・保育を見て互いの教育や保育を語り合う) ②10月 中学校公開授業			実践交流会 ③11月 小学校公開授業 園小連絡会 3月			園小連携会議(年間計画)			園小連携会議(年間計画)				
学びに向かう力会議 学びの礎プロジェクト会議(月1回)			学びに向かう力会議(反省・まとめ)			園小連携会議(年間計画)			園小連携会議(年間計画)				
学びに向かう力会議			園小連携会議(年間計画)			園小連携会議(年間計画)			園小連携会議(年間計画)				

幼児期の終わりに育てほしい姿

6か月頃～9か月頃		9か月頃～12か月頃	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・「アバババ」など、言葉を繰り返すことで音をつなげて話す。 ・名前を呼ばれると振り向く。 ・保育者の口元を見て真似る。 ・自分のほしいものがある時、そのことを視線や発声、表情で伝える。 ・人見知りや後追いが多く見られるようになる一方、特別な人の温かいかわりで安心感を得て、愛着関係が深まっていく。 ・自分の気持ちを泣いて訴えたり、抱っこを求めたりする。 ・「マンマン」「バア」などの要求や意味を伴った『志向の音声』が出始める。 ・バイバイと手を振ることを真似ることができるようになる。 ・言われていることを少しずつ理解できるようになってくる。 ・保育者に絵本を読んでもらったり、手遊び、まねっこ遊びをしたりしながら、簡単な言葉を発する。 	子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・要求したり援助を求めたりする時に、周りの関心を引こうとして、手差し指差しをしたり、発語したりする。 ・要求を喃語や仕草、片言で伝えようとする。 ・保育者の言葉を少しずつ理解する。 ・絵本に出てくる食べ物や身近な物に興味を示したり、指差しをしたりする。 ・名前を呼ぶと、手をあげて応えるやり取りを楽しむ。 ・大人の真似をして、いろいろな音声や音節を繰り返したり、動作を真似たりする。 ・友だちの姿に関心をもち、顔や体に触れたり、笑いかけたりする。 ・言葉の意味が分かり始め、「ちょうだい」に対し手の上に置こうとしたり、ボールを転がして相手に渡したりする。 ・他者が示す喜怒哀楽の基本的な感情が分かる。また、「パパ」「ママ」などの発語が出てくる。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した生活リズムで機嫌よく過ごし、心地よい生活を送る。 ・保育者の語りかけを喜び、自分でも声を出すことを楽しむ。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と十分にかかわって、欲求を受け止めてもらい、親しみをもちながら安定して過ごす。 ・保育者との楽しいやりとりを通して、発語への意欲をもつ。
内容	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者との関わりを喜び、信頼関係を深めて機嫌よく生活する。 ・近くにいる保育者や子どもの動きを目で追ったり、動きを真似たりする。 ・歌を聞いたり、手遊びを見ながら指差しをしたり、喃語を話すことを楽しんだりする。 ・安心できる環境の中で、自分の思いや感情、要求を態度や喃語で伝えようとする。 ・保育者に優しく語りかけてもらい、発声や喃語で応答し、発語を楽しむ。 ・絵本を読んでもらうことを喜び、指差しや喃語をくり返す。 </div>	→	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・喃語や片言を優しく受け止めてもらい、保育者とのやりとりを楽しむ。 ・保育者などとの間で、玩具などを共有し始め、要求の手差しや指差しをする。 ・ふれあい遊びや絵本を通じて、やりとりの楽しさを感じる。 ・友だちの行動に関心を示し、かわりをもとうとする。 ・保育者に絵本を読んでもらったり、手遊び、真似っこ遊びをしたりしながら、簡単な単語を発する。 </div>
○環境構成 ☆援助	<p>○身近にいる特定の保育者ができるだけ子どものそばを離れず、安心感を与えられるような体制となるよう、保育者間の連携をとる。</p> <p>☆一人ひとりの生活リズムに応じて、優しく語りかけながら、授乳やオムツ交換を行い、気持ちよく生活に慣れるようにする。</p> <p>☆保育者が笑顔で名前を呼び、優しい声で歌いかけたり、ゆるやかな動作でわらべうた遊びをしたりする。また、子どもの目の前で「レロレロ」などの口の動きを見せて、模倣を引き出す。</p> <p>☆遊びや生活を通して、具体的に身の回りのものの名前、動作などを語りかけていく。</p> <p>○発達に合った絵本を用意し、子どもの指差しや喃語に言葉で丁寧に返していく。</p>	○環境構成 ☆援助	<p>○優しい笑顔と声かけでふれあい、安心して楽しめる雰囲気をつくる。</p> <p>○口の筋肉、呼吸する力を高めるため、ラッパや笛などの吹く玩具を用意する。</p> <p>☆子どもが感じた驚きやドキドキを保育者も一緒に感じ、言葉や表情で伝える。</p> <p>☆自分の意思をもち始める時期なので、子どもの気持ちを温かく受け止め、寄り添う。</p> <p>☆子どもの言葉をゆったりと受け止めたり、優しく返したりするなど、安心して言葉が発せられるようにする。</p> <p>☆保育者が子どもの手差しや指差しを言葉で意味づけし、遊びや生活の中で、子どもの見つけた喜びを一緒に感じ、表情や言葉で伝える。</p> <p>☆子どもの喃語や指差しなどを保育者が受け止め、共感し、言葉に置き換えていく。</p> <p>☆ものを媒介にして人間関係を結び始めるので、玩具の渡し方などは、言葉と動作をそえて、できるだけ子どもの正面から丁寧にしかかわる。</p> <p>☆保育者の仲立ちを通して、友だちと遊ぶ楽しさを感じられるようにする。</p>

1期 4～8月		2期 9～3月	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に戸惑い、気持ちが不安定になる。安心できる保育者と一緒に過ごすことで、好きな遊びを楽しむようになる。 ・自分の思いを、仕草や表情、簡単な言葉で伝えようとする。 ・歩行が安定し始め、手指操作では様々な動きができるようになり、出す、入れる、押す、つまむなどの動きを楽しむようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自我が芽生え、ものや場所、人に対して執着するようになり、ものの取り合いが多くなる。 ・自分の思いやしてほしいことを言葉や動作で伝えようとする。 ・身の回りのもの（人形、電話など）を使って、簡単な再現遊びをするようになる。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、安心して園生活を送る。 ・安心できる保育者と一緒に、好きな遊びを見つけて遊ぶ。 ・自分の思いを表情や指差し、簡単な言葉で表す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・要求を自分なりの言葉で伝えたり、保育者とかかわる中で言葉を使うことを楽しんだりする。 ・保育者と一緒に、興味のあることや体験したことの真似をしたり、見立てたりすることを楽しむ。
内容	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に甘えたり、わがままを言ったりするなど、保育者に受けとめてもらうことで安心して過ごす。 ・お気に入りのものやお気に入りの場所で好きなことをして遊ぶ。 ・保育者と一緒に絵本を見たり、絵を見ながら保育者の言葉の真似をしたりする。 ・要求を仕草や簡単な言葉で表現しようとしたり、喃語や片言で保育者とのやりとりを楽しんだりする。 </div>	→	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや要求を表情や身振り、自分なりの言葉で伝えようとする。 ・保育者と簡単な言葉のやりとりを楽しんだり、簡単なあいさつをしたりする。 ・身近にある人形や電話などを使い、簡単な生活再現遊びをする。 ・保育者や友だちの真似をすることや、つもり遊びを楽しむ。 </div>
○環境構成 ☆援助	<p>○朝の受け入れ時は、同じ保育者が対応するなどして、子どもが安心できる雰囲気や流れをつくる。</p> <p>○写真が大きく載っている絵本など、子どもたちにわかりやすく、発語につながる絵本を用意する。</p> <p>○一人ひとりのお気に入りのものや場を把握し、十分に楽しめるような場や時間をつくる。</p> <p>☆スキンシップが十分にできるような触れ合い遊びや、わらべ歌遊びを取り入れ、毎日の遊びの中で保育者と十分に触れ合い、新しい保育者との信頼関係が築けるようにする。</p> <p>☆子どもが関心をもったものや子どもの見つけた遊びを受け止め、保育者も一緒に遊び、子どもの思いに共感できるようにする。</p> <p>☆子どもの思いを受け止め、子どもが指差した物を言葉にししたり、興味を示したことに言葉を添えたりして発語につながるようにする。</p> <p>☆わがままをその時期の大切な自己主張と捉え、温かく寄り添う。</p>		<p>○同じ物の玩具の数を十分に揃え、一人ひとりが満足して遊ぶことができるようにする。</p> <p>○生活場面を再現して遊ぶことができるように、生活の中の身近なもの（人形、電話、鞆など）を用意する。</p> <p>○やりとりを楽しめる遊び（ままごとなど）の工夫をし、身に付けるものを用意したり、イメージを広げて遊べるような手づくり玩具を用意したりする。</p> <p>☆自分の思いや要求を伝えようとする姿を受け止め、思いを具体的に代弁したり、その場に応じた言葉を返したりしていく。</p> <p>☆保育者が「貸して」「どうぞ」「おいしいね」などの言葉や動作を添えていくことで、簡単なやりとりをする楽しさが感じられるようにする。</p> <p>☆保育者も一緒に遊び、生活そのものを丁寧に演じてみせることで、再現して遊ぶおもしろさや楽しさを感じることができるようになる。</p>

1期 4月～8月		2期 9月～12月	3期 1月～3月
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から離れる寂しさや、新しい環境に対する不安や戸惑いを感じて泣けるが、保育者に受け止めてもらうことで少しずつ気持ちが落ち着くようになる。 二語文を話し始めるなど言葉が増え、自分の思いや要求を言葉や仕草で伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の再現遊びを保育者と一緒に楽しむ。 友だちと互いに関心を示し始め、保育者が仲介することで友だちと一緒に遊ぼうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自他の区別ができて、固執や反抗など自己主張が強くなり、しばしば友だちとのもの取り合いなどでぶつかり合うことがあるが、保育者の仲介があると「いいよ」と貸せることもある。 個人差はあるが、大人の言葉や身の回りのことなど、見聞きするあらゆるものに対して「なぜ」「どうして」と尋ね、納得するまで質問するようになる。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 園の生活や環境に慣れ、安心して過ごす。 身近な自然に触れ、保育者とかかわりながら自分のしたい遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な保育者の言葉や行動の真似をしたり、おもしろいと感じたことを繰り返し遊んだりする。 保育者や友だちとかかわりの中で、言葉のやりとりを楽しんだり、自分の思いや要求を自分なりの言葉で伝えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味のあることや経験したことなどを、保育者と一緒に自分なりに好きなように表現しようとする。 保育者や友だちとかかわることを喜び、同じ遊びを好んだり、ごっこ遊びを楽しんだりする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友だちとかかわりの中で自分の気持ちを安心して表す。 生活の中で簡単な挨拶や返事をしたり、生活に必要な簡単な言葉を使ったりする。 保育者に好きな絵本を読んでもらったり、知っている歌や手遊びを一緒にしたりする。 保育者に対し、「～したよ」など、出来事を思い出して話すことを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友だちと簡単な言葉のやりとりを楽しむ。 繰り返しのあるやりとりやおもしろい言い回しのある絵本や紙芝居を見ることを喜び、言葉を真似て遊ぶ。 遊びや生活に必要な言葉を保育者と一緒に使って、身近な友だちとかかわろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験したことを自分なりに伝えようとしたり、「よかった」「嬉しい」などの気持ちを言葉で表現したりする。 「みんなのものがある」ということに気づき、保育者の仲立ちで順番に使ったり、分け合ったり、「かして」「いいよ」などと貸し借りをしたりしながら使おうとする。 身の回りのことに興味をもち、「なぜ」「どうして」などの言葉を使う。
○環境構成 ☆援助	<ul style="list-style-type: none"> ○環境の変化により不安になることがあるので、家庭と同じような、安心でき、落ち着ける環境をつくる。 ○自我の拡大期となり、自己主張が強くなってくるので、やりたいことをじっくりとすることができるような場や時間を保障する。 ☆一人一人に応じた言葉がけや配慮を心がけることで、保育者との信頼関係が気づけるようにする。 ☆保育者と一緒に遊ぶ中で、同じ場にいる友だちがしていることにも気づけるような言葉がけをしていく。 ☆子どもの発見や気づきを受け止め共感していくとともに、保育者自身の発見を言葉に出すことで、子どもたちの気づきや興味にもつながるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○再現遊びや見立て遊びを通して、保育者や友だちの真似をしたり、一緒に遊んだりできるように、場や玩具を準備しておく。 ○友だちへの関心が出てくる時期なので、保育者や友だちとかかわることが心地よいと思う遊びを取り入れる。 ☆再現遊びなどの中で、子どもの自発的な行動や自由な想像を受け止め、共感していくようにする。さらに意味づけを加えるなどして子どもの言葉を膨らませていく。 ☆まだ十分に言葉が出ないことがあるので、子ども一人ひとりの話したい気持ちを受け止め、急かすことなく言葉が出てくるのを待つようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分のもの」がはっきりしてきたり、「もっとほしい」という気持ちが強くなったりして、友だちとぶつかり合うことがあるので、一人ひとりが十分に満足して遊べるように、玩具は同じものの数を十分に揃える。 ☆生活や遊びの中で「イヤ」という言葉を使うが増えるが、自分のことを自分で決める「自我の充実」と捉え、自分のやりたいことが満たされるようにしていく。 ☆一人ひとりの表現を温かく受け止め、相手に分かりやすい言葉で代弁したり伝え方を知らせたりする。

1期		2期			3期		4期		5期		
4月 5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に不安と期待、緊張がみられ、困ったことや自分の要求などを、保育者に言葉やしぐさなどで訴える。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの存在を意識するようになる 自己主張が強くなり、物や遊具の取り合いなどトラブルになる事が多くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一緒にいたい友だちが得意、自分からかかわっていく。 友だちと意思のぶつかり合いが多くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと同じことがしたいという気持ちが高まり、一緒に遊ぼうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを自分なりの言葉で伝えようとする姿が多くなる。 						
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 園の環境に親しみ、安心して過ごす。 好きな遊びを見つけて楽しく遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友だちと同じ場で遊ぶことを喜ぶ。 保育者と一緒に絵本や紙芝居を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験したこと、感じたこと、思ったことなどを保育者や友だちに話そうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中でやり取りを楽しみながら、生活に必要な言葉を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを出しながら保育者や友だちと遊ぶことを楽しむ。 						
内容	<ul style="list-style-type: none"> 保育者との関わりの中で、安心して遊ぶ。 あいさつをかわしたり名前を呼ばれたら返事をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> したいことやしてほしいことを保育者に話す。 自分の思い通りにならないことがあることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友だちと遊ぶ中で「入れて」「貸して」などの言葉を使う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思ったことや感じたことを自分なりの言葉や動きで表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手から聞かれたことに応じて答えようとする。 						
異年齢交流	元気もりもりタイム 異年齢児と一緒に体操する。	中学生と一緒に好きな遊びをする。	運動会 4歳児、5歳児のリズムや種目を真似したり、教えてもらったりして一緒に遊ぶ。	高校生と一緒に園外保育へ行く。	お店屋さん 異年齢と一緒に「ください」「どうぞ」などのやりとりをしながら買い物遊びをする。	お別れ会 年中児、年長児と触れ合い遊びをしたり、「遊んでくれてありがとう」とプレゼントを渡したりする。					
○環境構成 ☆援助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安心して過ごせる場所であることが感じられるような環境の工夫をする。 ☆ 一人ひとりを温かく受け入れ、子どもが安定した気持ちで園生活を送れるように、名前を呼びかけたり、手をつなぐなどのスキンシップを図ったりして、信頼関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちとかかわって遊ぶことができるように、遊びに必要な材料や用具を十分に準備しておく。 ○ 落ち着いて絵本が読めるように絵本コーナーを設ける。 ☆ 自己主張を肯定的に受け入れていきながらも、自分の思い通りにならないこともあることを知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちに関心を持ち、同じ場で遊ぶ楽しさが感じられるような遊びを取り入れる。 ○ 気のあう友だちと過ごすことが楽しめるように、数人で入れるような囲いなどの用具や広すぎない場を用意する。 ☆ いろいろな遊びの楽しさに気づけるように、保育者も一緒に遊びの中に入り、友だちのしている遊びを知らせたり、一緒にその楽しさを味わったりする。 ☆ トラブルがあった時は、互いの子どもの気持ちを十分に受けとめて代弁し、“かして” “いれて” “ごめんね” などのかわりの言葉をその都度知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 気の合う友だちにかかわろうとしている時には、思いが伝わるように保育者が仲立ちして代弁したり、必要な言葉を知らせたりして、自分の思いが通じるうれしさを感じられるようにする。 ○ 子どもの思いに寄り添って話を聞いたり、認めたり、みんなに広めたりする場や機会を設ける。 ☆ 買い物の雰囲気を楽しめるように保育者がモデルになったり、一緒に買い物をしたりしてかかわって遊ぶ楽しさが感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活やお話の中に出てくるごっこ遊びが楽しめるように遊びの場を作る。 ☆ 安心して思いや気持ちを出していけるように見守ったり、時には仲立ちしたりする。 						

伝え合う力をはぐくむカリキュラム 4歳児

長浜市立とらひめ認定こども園

	1期		2期			3期		4期		5期			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 進級したことを喜ぶ姿が見られる反面、新しい環境に戸惑い、不安定になる子がいる。 好きな遊びをする中で、友だちの遊びに興味を持ち、同じ物や場で遊ぶ姿が見られる。 		<ul style="list-style-type: none"> 同じ場にいる友だちと一緒に遊んだり、気の合う友だちと誘い合って遊んだりする姿が見られる。 自分の思いだけで遊ぼうとして、トラブルになることがある。 			<ul style="list-style-type: none"> 友だちと遊びたい気持ちが強くなってきている姿が見られる。 友達と一緒に遊ぶ中で、感じたことや考えたことを自分なりの言葉や態度で伝えようとする姿が見られる。 		<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達と自分の思いを伝え合って一緒に遊びを楽しむようになる。 ルールや約束などがわかり、相手に伝えようとする。 自分の思いを相手にうまく伝えられない。 		<ul style="list-style-type: none"> 友だちと互いの思いを伝え合いながら、自分たちで遊びを進めようとする姿が見られる。 より多くの友だちと楽しめる遊びを好んだり、特定の友だちに限らず一緒に遊んだりする。 年長になることを意識し始め、喜びや期待をもって生活する姿が見られる。 			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に自分の思いや感じたことを言葉で表し伝えようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友だちと互いの思いを出して遊ぶことを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> 遊びのなかで思いや考えを出し合いながら友だちとのかわりを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友だちとの会話を楽しみ、思ったことや感じたこと、経験したことなどを話したり聞いたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友だちの話を聞いて内容が分かったり、自分の思いを相手に言葉で伝えたりする。 			
内容	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友だちと話したり遊んだりすることで親しみをもつ。 してほしいことや困ったことを保育者に伝えようとする。 元気に挨拶する。 		<ul style="list-style-type: none"> 経験したことや思ったことを伝えようとする。 遊びの中で「かして」「いれて」「ありがとう」などの言葉を交わす。 			<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友だちに経験したことや感じたことなどを言葉や態度で表す。 保育者や友だちの話に興味をもって聞こうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを伝えようとしたり、友だちの思いに気づいたりする。 友だちと思いを出し合いながら遊ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを言葉で伝えたり、相手の思いを受け入れたりしながら遊ぶ。 思いを出し合ったり教え合ったりしながら遊びを進めていく。 			
異年齢交流	5歳児と栽培活動をする(さつまいも)		中学生と一緒に好きな遊びをする			異年齢と一緒に運動会ごっこをする		5歳児と一緒に飼育当番をする		5歳児と一緒にさつまいもほりに参加する		高校生と一緒に園外保育へ行く	お別れ会
環境構成 ★援助	<ul style="list-style-type: none"> 安定して遊べるように、馴じみのある遊具や用具を準備して遊び場を設定する。 ★ 保育者に親しみが持てるように、一人一人とのふれあいを多く持ち、それぞれの思いを十分に受け止める。 ★ 保育者も一緒に遊びながら、友だちとかかわるきっかけ作りをする。 		<ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊びたい友だちと集れるような場や、友だちとのつながりを感じられるようなものを用意する。 ★ 栽培や飼育活動を通して驚きや発見に、共感したり共に喜んだりする。 ★ 友だちと一緒にしていることが意識できたり、楽しさを感じたりするような言葉がけをしたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> 好きな遊びが十分に楽しめるように、場や時間を確保する。また、友だちと一緒に力を合わせて作ったり考えたりできるようにする。 ○ 簡単なルールのある遊びを多く取り入れる。 ★ 一人一人の思いや考えに共感し、言葉で表す楽しさを感じるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ ルールのある遊びを取り入れて、多くの友だちと遊べるようにする。 ○ クラス全体であのねタイムを行い、楽しかったことや感じたことを言葉に出したり、話を聞いたりできるようにする。 ★ 友だちとイメージを共有して遊べるように配慮する。 ★ 遊びの中で自分の思いや考えを伝えるだけでなく、友だちの思いにも気づけるように仲立ちをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ みんなで話し合う場を設け、共通のイメージを持って遊べるようにする。 ★ 異年齢の友だちとのかわりをおして、年長組になることが楽しみと感ぜられるようにする。 ★ 友だちと思いを伝え合い、自分たちで遊びを進めようとする姿を見守り、思いが実現できるように支援する。 			

伝え合う力をはぐくむカリキュラム 5歳児

長浜市立とらひめ認定こども園

1期		2期			3期		4期		5期				
4月		5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 年長組になった喜びを感じ「見て」と自分ができたことを保育者にアピールする。 友だちが遊んでいる姿を見つけて自分も一緒にやろうとする。 年下の友だちを気にかけて、かかわって遊ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> 友だちとかかわりが広がり、協同で遊ぶ遊びが盛んになり、イメージを共有して遊ぶが、思いの違いからトラブルになることがある。 			<ul style="list-style-type: none"> 友だち同士の力関係や遊びの中で思いの違いからトラブルが多くなり、自分の思いを保育者に訴えてくる。 		<ul style="list-style-type: none"> 友だちと同じめあてをもって遊ぶ中で、友だちのよさに気づいたり、友だちを認めたりしながら、一緒に遊びを進めていこうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> クラスの友だちとみんなでする楽しさがわかり、友だちとの連帯感を感じながら、自分の力を発揮する。 カレンダーや1日の予定を見て、見通しをもったり、友だち同士で知らせ合ったりして生活しようとし、就学への期待をもつ。 			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 年長組になった喜びを感じ、自分の好きな遊びに取り組む中で友だちとかかわる。 		<ul style="list-style-type: none"> 友だちと意思を出し合い、いろいろな遊びを進める。 			<ul style="list-style-type: none"> 友だちと共通のイメージや目的をもち、互いに意思を出し合って遊びを進める。 		<ul style="list-style-type: none"> 友だちと共通のめあてに向けて遊ぶ中で、意思を出し合って一緒に進めていく楽しさや、やり遂げた満足感を味わう。 		<ul style="list-style-type: none"> 共通の目的や課題に向かって、感じたことや考えたことを様々な方法で表現しながら友だちと一緒に力を合わせてやり遂げる喜びを味わう。 小学生との交流や小学校に関する話を聞いて、小学校を身近に感じる。 			
内容	<ul style="list-style-type: none"> 親しみをもって挨拶をする。 自分の思いや考えを言葉で伝えようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたりする。 			<ul style="list-style-type: none"> 友だちの話に興味や関心をもって聞く。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを相手にわかってもらえるように話す。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えが相手に伝わるように考えて話し、伝わる喜びを味わう。 		<ul style="list-style-type: none"> 思ったことや考えたことを豊かに表現する。 	
異年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> 年下の友だちに優しく接しようとする 		<ul style="list-style-type: none"> 4歳児とさつまいもの栽培活動をする 			<ul style="list-style-type: none"> ウサギ当番のやり方や楽しさなどを4歳児に伝える。 		<ul style="list-style-type: none"> さつまいも収穫後一緒にクッキング 		<ul style="list-style-type: none"> お別れ会 			
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ○元気よく挨拶が出来るように保育者がモデルになる。 ○互いの顔を見て話したり聞いたりできるような場をつくる。 ○身の回りの自然環境を園生活に取り入れる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○相手の様子が見やすい場の広さや向かい合って遊べる場などの環境構成を工夫する。 ☆異年齢交流の場を作り、子ども同士が伝え合ったり教え合ったりできるような場を大切にする。 ☆友だちの中で思いが通じ合えるように、言葉を補ったり相手の思いを伝えたりする。 ☆一人一人の表現を受けとめ、安心して素直に思いが伝えられる“あのねタイム”にする。 			<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人のがんばりや感じたこと、考えたことを伝えたり聞いたりできる場や機会を設ける。 ☆困った場面でも何とか子どもの力で乗り越えられるように支えたり、助言したりする。 ☆トラブルがあった時は、解決を急がずに、子どもの気持ちを受け入れ、共感しながら一緒に方法を探る。 ☆うまく相手に伝えられない時は、遊びの中に入りながら言葉を引き出せるような援助をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の役割を果たそうとしている姿をとらえ、友だち同士で認め合える場をつくる。 ☆友だち同士で誘い合ったり励まし合ったりすることで仲間意識を高め、思いを共有しながら遊ぶことに支えていく。 ☆相手に伝わったかどうか分かるように保育者が仲介することで、自分の思いを友だちに伝わるように話そうとする気持ちが持てるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○人前で話す、聞くなどの活動を積み重ねることができるような場をその都度設けていく。 ○異年齢児と共に活動する時間を多くつくり、自分たちのしてきたことを伝えたり、心を通わせたりして過ごせる場を設ける。 ☆交流などの中で小学校への期待感をもてるようにする。 ☆考えを出し合って協力している姿や子ども同士が違いの良さを認め合っている姿を大切に、クラスのつながりを深めていけるようにする。 ☆人前で話す時の緊張感を受けとめ、話そうことができた自信が就学への期待や喜びにつながっていくようにする。 			
☆援助	<ul style="list-style-type: none"> ☆一人一人の気持ちを受けとめながら、互いの思いに気づき合えるように仲立ちする。 ☆“あのねタイム”では、同じ子に偏らないようにし、みんなの思いが聞けるようにする。 												

月	めざす子どもの姿	身につけたい力 (伝え合う力)	国語科		生活科との関連	道徳との関連	算数科との関連	備考
			単元名・目標・ 具体的な言語活動・学習活動					
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> みんなに聞こえる声の大きさを話せる子 相手の顔を見て話を聞ける子 尋ねたり答えたりすることを楽しむ子 	<ul style="list-style-type: none"> クラスや異学年の友だち、先生とあいさつする。 みんなに聞こえる声の大きさを話す。 正しい姿勢で立って話す。 口形に注意し、はっきりした発音で話す。 知らせたい事を選び、聞き手にわかるように話す。 二つ、三つの文で話す。 話し手の顔を見て聞く。 話を最後まで聞く。 1対1で、尋ねてみたい事を持ちながら聞いたり、話したりする。 	<p>【はる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵を見て想像したことなどを話し、国語学習を楽しく始める 挿絵を見て知らせたいことを選び、先生や友達に分かるように話す。 <p>【おはなしよんで】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生が読むお話を聞き、お話の世界を楽しんで興味を広げる。 教科書の絵から見つけた知っているお話について、みんなに聞こえる声の大きさを話す。 <p>【わけをはなそう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の挿絵を見て、それぞれの顔の表情から、女の子の気持ちやそのわけを考える。 体験したことの中へ、話すことを決める。 気持ちを先に話し、その後に理由を話す。 <p>【すきなものなあに】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と尋ね合い、答え合って、口頭での正確なやり取りを楽しむ。 好きなものについて、友達と尋ね合い、答え合ってやり取りを楽しむ。 	<p>【なかよくなりたいな】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介やサイン交換、先生にインタビュー等の活動等を通して、友だちや先生のふれ合いを深め、楽しい学校生活をおくっていかうとする気持ちをもつことができる。 自己紹介やサイン交換、先生にインタビュー等の活動を通して、友だちや先生のふれ合いを深めあう。 <p>【みんなでがっこうをあるこう】 園小交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の施設や働いて働いている人に感心を持ち、積極的に学校探検をすることができる。 学校探検を通して、学校内の多くの人や施設、自然、生き物とふれ合い、親しみや愛着をもつことができる。 <p>【はる見つけ】 園小交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭や身近な自然の様子に関心をもち、すすんで春探しをする。 友だちと話し合い、協力し合って、春みつけができる。 <p>【たねをまこう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物の生長に関心をもち、継続して世話をしたり観察記録をつけたりすることができる。 自分のあさがおやひまわりの様子を絵や文字で書き、友だちと知らせ合い、伝え合う楽しさを知る。 	<p>【主題名 あいさつはいいきもち】</p> <p>内容項目 B 礼儀 資料名『あいさつ』</p> <ul style="list-style-type: none"> 気持ちの良いあいさつを心がけ、人に明るく接しようとする心情を育てる。 自分から進んで気持ちよいあいさつができる。 <p>【主題名 規則正しい生活】</p> <p>内容項目 A 節度節制 資料名『ゆうたのへんしん』</p> <ul style="list-style-type: none"> わがままをしないで、規則正しい生活をしようとする心情を育てる 時間を守らなければならない理由を話し合うことができる。 	<p>【かずとすうじ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものの数量に関心を持ち、数や量の概念の基礎となる経験をする。 いろいろな観点や条件を話し合いながら、意欲的に集合を作ることができる。 <p>【いくつといくつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 加法の意味と和が10以内の加法計算のしかたを理解し、それを用いることができる。 計算のしかたを具体物を用いてわかりやすく説明することができる。 <p>【ふえたりへったり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 減法の意味と被減数が10以内の減法計算のしかたを理解しそれを用いることができる。 計算のしかたを具体物を用いてわかりやすく説明することができる。 	<p>【学校を歩こう】 園小交流</p> <p>【春見つけ】 園小交流</p>	
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい事を持ち相手の顔を見て話せる子 相手の顔を見て最後まで話を聞ける子 進んで、尋ねたり答えたりすることを楽しむ子 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手の顔を見て話す。 聞き手の人数に応じて、声量を考えながら話す。 具体物をもつたり、指し示したりしながら話す。 経験した順序や時間的順序を考えながら話す。 話し手の知らせたい事に気をつけて聞く。 文の数に気をつけて聞く。 1対1やグループで、尋ねてみたい事を持ちながら聞いたり話したりする。 	<p>【夏休みの思い出発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みの出来事などを友達に知らせ、また友達の話を興味をもって聞き、伝え合いも楽しさを知る。 話す時に必要な写真や品物をそろえたり、絵を描いたりして、それら示しながら、夏休みの思い出を発表する。 友達の発表を聞いて、質問したり感想を言ったりする。 <p>【本はともだち ずうっと、ずうっと、大すきだよ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 想像を広げながら読み、物語を楽しむ。 友達に読んでもらいたい本を決め、書いたり話したりして紹介する。 紹介文に書いた事柄を、みんなに向かって話す。 友達が薦めてくれた本について、発表の感想を返したり、探して読んだりする。 	<p>【みんな だいすき】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として自分の役割に気づき、自分のできることをすすんで行うことができる。 家族や身近な人のよさや自慢できることを調べ、グループで紹介し合ったり、調べてきたことをみんなに伝え合ったりする。 <p>【あきをさがそう】 園小交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭や身近な自然の様子に関心をもち、すすんで秋探しをするとともに、秋の素材を使った遊びに取り組もうとすることができる。 友だちと話し合い、協力し合って、木の葉や木の実など自然にあるものを使って、工夫して作品を作ったり、遊んだりすることができる。 	<p>【主題名 みんなで使う物】</p> <p>内容項目 C 規則の尊重 資料名『そろっているけど』</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなが使う物は大切に使う態度を養う。 みんなが使う物は大切について話し合うことができる。 <p>【主題名 うそばかりついていると】</p> <p>内容項目 A 正直誠実 資料名『ひつじかいのこども』</p> <ul style="list-style-type: none"> 嘘をついたり、ごまかをしたりしないで、素直にのびのび生活しようとする態度を養う。 本当にオオカミだったのに信じてもらえなかった気持ちをわかりやすく話し合うことができる。 	<p>【おおきさくらべ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長さの比較などを通して、長さの概念や測定についての理解の基礎となる経験を豊かにする。 直接比較や間接比較、任意単位による測定などの操作活動も入れながら、わかりやすく比べ方を説明することができる。 <p>【たしざん ひきざん】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3口の数の加減や加減混合の計算のしかたを理解し、それを用いることができる。 2口の数の加法や減法の考え方を用いて、3口の数の計算のしかたについて話し合うことができる。 	<p>【秋がいっぱい】 園小交流</p>	
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい事を持ち事柄や経験の順序にそって話せる子 話の内容に興味をもち、大事な事を落とさないように聞ける子 身近な話題をもとにして話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の顔を見て、うなずいたり、相づちをうったりして聞く。 五つの文で話す。 大事な事を落とさないように最後まで聞く。 簡単なメモを取りながら聞く。 わからない事について聞き返す。 話し合いの進め方を使って話し合う。 身近な話題をもとに、グループや学級で話し合う。 	<p>【ことばって、おもしろいな】</p> <p>②おみせやさんごっこをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ものの名前との関係(上位語・下位語)に興味をもつ。 お店のちらしを書いたり、客や店の人の役に分かれてやり取りしたりして、「おみせやさんごっこ」を楽しみながら、上位語・下位語についての理解を深める。 何のお店にするか、宣伝ちらしに何を書くかを話し合って決める。 店員とお客になって言葉のやり取りを楽しむ。 よくきいて、あてよう「わたしはなんでしょう」 「わたしは、なんでしょう」ゲームの問題を作る。 聞き手全員に聞こえるように問題を出す。 質問したり答えたりする。 <p>【おはなしをたのしもう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面の様子を想像したり、声に出して読んだりして、お話を楽しむ。 友達にも読んでもらいたいお話を決め、書いたり話したりして紹介する。 グループごとに幼稚園、保育園に行つて紙芝居をするなど、聞き手を設定して 交流する。 紹介カードを作り、発表の練習をする。 	<p>【冬をたのしく】 園小交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然や町の様子の变化に気づくとともに、冬休みや正月にした遊びを話し合って、みんなで楽しく遊ぶことができる。 昔から伝わる遊びについて話し合い、幼稚園児と楽しく交流し合いながら遊ぶことができる。 <p>【あたらしい1年生をしょうたいしよう】 園小交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学してからの1年間の出来事をふり返り、友だちや先生、多くのに支えられながら自分が成長してきたことに気づくことができる。 新1年生を迎える準備をし、新1年生とかかわることによって、進級する喜びや希望をもつことができ、みんなに発表することができる。 	<p>【主題名 動物の命】</p> <p>内容項目 D 生命の尊さ 資料名『ハムスターの赤ちゃん』</p> <ul style="list-style-type: none"> 生命を大切にしようとする心情を育てる。 命についての大切さを話すことができる。 <p>【主題名 友だちと助け合って】</p> <p>内容項目 B 友情信頼 資料名『ゆっきとやっち』</p> <ul style="list-style-type: none"> 大好きな友だちとさらに仲良く助け合おうとする心情を育てる。 友だちの良さについて話し合うことができる。 	<p>【かたちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものの形の観察や形の構成などの操作を通して、立体図形に親しみ、それらの理解の基礎となる経験を豊かにする。 操作活動を通して、形以外の属性を捨象して、その形の特徴、機能についてわかりやすく話すことができる。 <p>【たしざんとひきざん】</p> <ul style="list-style-type: none"> 順序数や異種の数量、求大や求小についても加減計算が適用できることを理解し、それを用いることができる。 図解しながら数量関係を説明することができる。 	<p>【冬をたのしく】 園小交流</p> <p>【もうすぐ1年生】 園小交流</p>	

【虎姫小学校 3年】 伝え合う力をはぐくむカリキュラム

月	めざす子どもの姿	身につけたい力 (伝え合う力)	国 語 科		道徳等との関連	算数科との関連	備 考
			単元名・目標・具体的な言語活動・学習活動				
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい事や相手を意識して話せる子 話の中心に気をつけて聞ける子 自分の意見や感想をもってすすんで話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい事を選び、聞き手に内容がよくわかるように話す。 大切な事を選び、相手に正確に伝わるように話す。 その場の状況に応じた適切な音量や速さで話す。 話の中の大事な言葉や順序に気をつけて聞く。 	<p>【本と出会う、友だちと出会う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「場面」について知り、二つの場面の様子を想像しながら読んだり、様子が分かるように声に出して読んだりする。 ・写真を見て、想像した事を話す。 ・音読発表会を開く。 <p>【じゅんじょが分かるように、話したり聞いたりしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明するとき大事なことを知り、分かりやすく、正確に話したり、聞いたりして道案内ゲームを楽しむ。 ・道案内をする時に大切な事を話し合う。 ・二人組になって目的地にたどり着けるよう、道案内の練習をする。 ・学級全体の前で、道案内の発表をする。 	<p>【主題名 約束を守ると言うこと】</p> <p>内容項目 C 規則の尊重 資料名『ちゃんと使えたのに』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○約束を守ろうとする態度を養う。 ◎約束を守ることの大切さを話し合うことができる。 <p>【主題名 思いやりをもって】</p> <p>内容項目 B 親切、思いやり 資料名『おじいちゃんとの楽しみ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰に対しても進んで親切にしようとする心情を育てる。 ◎相手の気持ちを考えて親切にしたことを話し合ったりする。 	<p>【わり算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○除法の意味について理解し、それを用いる能力を身につける。 ◎「分ける」場面について日常生活や教科書の挿絵をもとに話し合う。 <p>【3けたの数の計算を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○筆算形式による3位数の加減計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を高める。 ◎大きな数の筆算のしかたを既習の筆算のしかたをもとに考え、順序よく発表する。 		
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい内容と伝える目的をはっきりもって話す子 話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をもてる子 自分と相手の考えや比べながら話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手によくわかるように筋道を立てて話す。 相手にわかるように、適切な言葉遣いで話す。 話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめる。 	<p>【進んで話し合い、発表しよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「分類」や、その観点の違いに興味を持ち、身の回りの事柄について調べ、発表して友だちと交流する。 ・「分類」に興味をもち、実際に分類し合う。 ・インタビューのしかたを知り、インタビューの練習をする。 ・インタビューをし、発表の材料を集める。 ・「分類」発表会を開く。 	<p>【主題名 命が生まれ育つこと】</p> <p>内容項目 D 生命の尊さ 資料名『お父さんからの手紙』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。 ◎自分の気持ちを発表したり、生命の大切さを話し合ったりする。 <p>【主題名 自分に正直に】</p> <p>内容項目 A 正直、誠実 資料名『まどガラスと魚』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○正直に明るい心で元気よく生活しようとする実践意欲を高める。 ◎正直にできないときの後ろめたい気持ちについて話し合うことができる。 	<p>【わり算を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○九九を1回適用してできる除法で、あまりのある場合の計算のしかたについて理解するとともに、それを用いる能力を身につける。 ◎わる数とあまりの大きさについて、気づいたことを発表する。 <p>【かけ算の筆算（1）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○筆算形式による2, 3位数に1位数をかける乗法の計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を高める。 ◎2けた×1けたの計算の方法を発表したり、同じ考えを探しながら聞いたりする。 		
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい内容の中心がわかるように、まとまりに気をつけて話せる子 話の中心に気をつけて、話し手の内容と自分の経験や考えを比較しながら聞く子 互いの考えの相違点や共通点を考えながらすすんで話し合う子 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを理由をつけて話す。 自分と他人の考えとの相違点や共通点を考え、進んで話し合う。 相違点、共通点を知るために友だちの話をしっかり聞く。 調べた事、考えた事、自分で考案した事などを、説明したり、報告したりする。 発表会などで、伝えたい事を選び、自分の考えがわかるように筋道を立てて相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話す。 	<p>【名前を整理して話し合おう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お互いの考えをよく理解し、合意点を見つけるために、グループで話し合う。 ・今までの話し合いで大切な事を話し合う。 ・CDを聞いて気づいた事を話し合う。 ・グループでテーマを決め、話し合う。 <p>【言葉って、おもしろいな】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字の成り立ちや組み立てに興味をもち、調べたり、作品を作ったりしてその成果を発表・交流することで、さらに興味を深める。 ・漢字の成り立ちについて理解する。 ・漢字の成り立ちを調べて遊ぶ。 ・漢字の成り立ち発表会を開く。 <p>【学習したことを生かして】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物語を読んで感想や課題をもち、一年間の学習を振り返って自分なりの学習課題や学習方法を考え取り組むことで、自ら学び、考える力をつける。 ・音読発表会を開く。 	<p>【主題名 よく考えて行動する】</p> <p>内容項目 A 節度、節制 資料名『ぼくを動かすコントローラー』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする態度を養う。 ◎わたしの気持ちを発表したり、自分の考えで行動したことを話し合ったりする。 <p>【主題名 大切な命】</p> <p>内容項目 D 生命の尊さ 資料名『助かった命』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生命の尊さを感じ取り、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。 ◎生命の大切さを話し合うことができる。 	<p>【かけ算の筆算（2）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○筆算形式による2位数に2位数をかける乗法の計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を高める。 ◎既習の計算を使って、2位数×2位数の計算や筆算のしかたを考え、発表する。 		

【虎姫小学校 4年】 伝え合う力をはぐくむカリキュラム

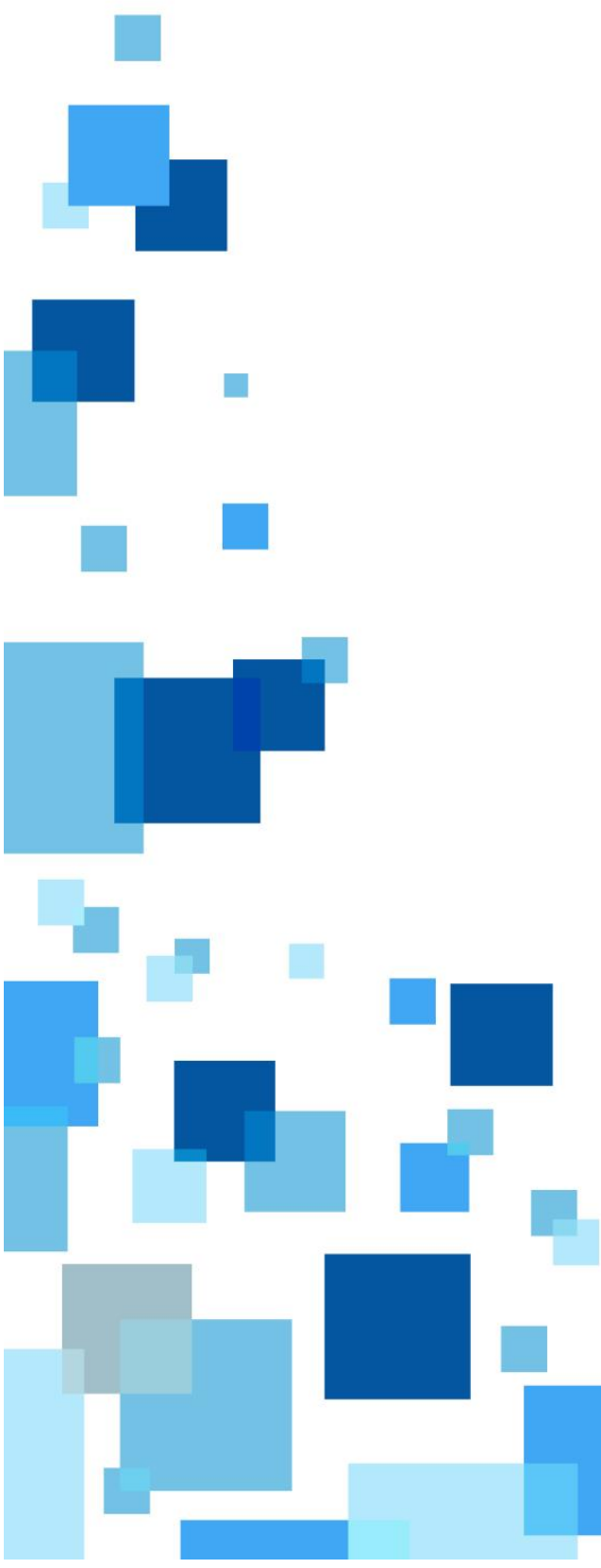
月	めざす子どもの姿	身につけたい力 (伝え合う力)	国語科		道徳との関連	算数科との関連	備考
			単元名・目標・具体的な言語活動・学習活動				
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい相手を意識して、話の要点が伝わるように工夫して話せる子 話の中心に気をつけて聞ける子 自分の意見や感想をもって進んで話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの言葉や出来事を題材にしたスピーチをする。 友だちの話を読み、感想をもったり、話し合ったりする。 適切な音量や速さで話す。 相手に用件が伝わるように、大事な事を落とさず、筋道を立てて適切な言葉遣いで話す。 大事な事を確かめながら聞き、短い言葉でメモをとる。 その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話す。 	<p>【話し合いのしかたについて考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スピーチや言葉のプレゼントに興味を持ち、続ける意欲をもつ。 ・関心のある話題を選び、学級の友だちにスピーチする。 ・体験の中から伝えたい事を選び、聞いている人にわかるように話す。 	<p>【主題名 節度のある生活】</p> <p>内容項目 A 節度、節制 資料名『目覚まし時計』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し節度のある生活をする。 ◎感想カードに何もかけないえいじの気持ちを、適切な音量や速さで話し合うことができる。 	<p>【大きい数のしくみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一億、十億、百億、千億の数の大きさと命数法、記数法を理解する。 ◎既習の数の表し方をもとに、億の位の数の表し方について、自分の考えを話すことができる。 		
			<p>【伝言はまちがえずに】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○口頭で用件を伝達するとき大事なことが分かったり、メモの取り方を工夫して適切に話したりする。 ・電話で伝える時、内容が正しく伝わるために大事な事は何かを話し合う。 ・電話で伝え合う事を実演し、メモのとり方の要点を知って練習する。 ・場面を考えて、メモをとりながら友だちと電話で話す練習をする。 	<p>【主題名 気持ちのよいあいさつ】</p> <p>内容項目 B 礼儀 資料名『あいさつができた』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すすんで誰にでも挨拶しようとする態度を養う。 ◎挨拶をして気持ちのよかった体験を話し合うことができる。 	<p>【わり算のしかたを考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○10、100の倍数を1位数でわる除法計算のしかたを理解し、その計算をすることができる。 ◎何十÷1位数の計算の答えの求め方について、各自の考えを説明することができる。 		
			<p>【調べて発表しよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「手と心で読む」をきっかけに、点字などの伝え合いの方法に興味を持ち、自分の課題をもって調べて発表するとともに、交流によってさらに知識を得、ものの見方・考え方を広げる。 ・「手と心で読む」を読む。 ・調べたい課題を決め、グループごとに調べる内容について話し合う。 ・調べてわかった事を元に発表原稿を書き発表に必要な資料の準備をする。 ・発表の仕方を工夫し、わかりやすく発表する。 ・「聞き取りメモ」への記入の仕方を知り、聞く観点をもって発表を聞く。 	<p>【主題名 本当の親切】</p> <p>内容項目 B 親切、思いやり 資料名『心と心のあく手』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思いやりの心をもって親切にしようとする心情を育てる。 ◎自分の考えがわかるように話す。 	<p>【垂直平行と四角形】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四角形の概念や性質について理解し、それを構成したり用いたりする能力を伸ばす。 ◎四角形を分類する観点について友だちの考えと比べながら、自分の考えを発表することができる。 		
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 伝える相手や目的に応じて、適切な言葉の使い方に気をつけて話せる子 話の中心に気をつけて聞き、自分の意見や感想をまとめられる子 自分と相手の考えの相違点や共通点を考えながら、合意点を見つけようとして、すすんで話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の友だちに自分の考えがわかるように筋道を立てて話す。 話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめる。 友だちの発表と自分が調べた事や考えた事とを比べて、感想を発表する。 グループ内、学級内等状況に応じて適切な音量や速さで話す。 聞き手に応じて、適切な音量や速さを考え、丁寧な言葉遣いで話す。 友だちと互いの考えの相違点や共通点を理解しながら、決めるために進んで話し合う。 賛成、反対などの立場をはっきりさせながら話す。 他の人の意見を取り入れて、よりよい案を考える。 	<p>【よりよい意見にまとめよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○合意点を見つけようとして発言し、話し合いによって物事を決める楽しさを知る。 ・よりよい意見にまとめるための話し合いの方法を学習することを学ぶ。 ・意見を出す時の注意点を教科書を参考にしてまとめる。 ・話し合いを進行する時の注意点をまとめる。 ・話し合いを観察し合い、グループごとに自分たちの話し合いを振り返る。 	<p>【主題名 分けへだてなく】</p> <p>内容項目 C 公正公平社会主義 資料名『いじりといじめ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰に対しても分け隔てなく相手を大切にしようとする心情を育てる。 ◎友達と互いの意見の相違点や共通点を理解しながら話し合う。 	<p>【分けた大きさの表し方考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分数の意味とその表し方について理解するとともに、端数部分の大きさや等分してできる部分の大きさなどを表すときに分数を適切に用いる能力を身につける。 ◎等しい大きさに分けることについて、友だちの考えとの相違点や共通点を理解しながら進んで話し合うことができる。 		
			<p>【言葉って、おもしろいな】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな言葉遊びを知って興味をもち、調べたり考えたりした言葉遊びを発表して交流し、言葉についての興味をさらに深める。 ・言葉遊びを知り、「いろいろなことば遊び」に出ている六種類の言葉遊びを楽しむ。 	<p>【主題名 礼儀にこめられたもの】</p> <p>内容項目 B 礼儀 資料名『フィンガーボール』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手のことを思いやり、進んで親切にする。 ◎女王様がどんな気持ちからフィンガーボールの水を飲んだのかについて、中心を考え自分の考えがわかるように話す。 	<p>【面積のはかり方と表し方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○面積の概念や測定の意味について理解するとともに、長方形、正方形の面積の求め方を理解する。また、公式などを用いて面積を求めることができる。 ◎広さの比べ方について、他の人の意見を散り入れてよりよい案を考えながら話し合うことができる。 		
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい事や調べた事を、相手を意識して筋道立てて話せる子 話の組み立てに気をつけて聞き、自分の意見や感想をまとめられる子 自分と相手の考えを比べながら話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 発表会で、考えた事や自分の意図がわかるように、話の組み立てを工夫しながら目的や場に応じた適切な言葉遣いで話す。 グループの学習計画や発表会のもち方について計画的に話し合う。 	<p>【学習したことを生かして】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物語を読んで感想や課題をもち、1年間の学習を振り返って、自分なりの学習課題や学習方法を考え、取り組むことで、自ら学び、自ら考える力をつける。 ・新美南吉に関する本などを読んで大事な事をまとめて紹介する。 ・新美南吉の他の作品を読んで読書集会をする。 	<p>【主題名 よくばりな心】</p> <p>内容項目 A 節度、節制 資料名『金色の魚』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○欲張りや他者を不快にするということに気づき、節度をもとうとする心情を育てる。 ◎受け止め方の変化について意見を交流することができる。 	<p>【どのように変わるかな】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伴って変わる2つの数量について、それらの関係を表や式に表して、2つの数量の関係を調べたり明らかにしたりする能力を高める。 ◎時刻あてゲームの答えを予想し、自分の考えがわかるように筋道を立てて話すことができる。 		

【虎姫小学校 5年】 伝え合う力をはぐくむカリキュラム

月	めざす子どもの姿	身につけたい力 (伝え合う力)	国語科		算数科との関連	道徳との関連	備考
			単元名・目標	具体的な言語活動・学習活動			
一学期	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい相手や伝えたい事柄をはっきりさせて話せる子 相手の話を受けて自分の考えが言えるように聞ける子 自分の考えに自信をもって話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを正確に伝えるために、事実と意見を区別して話す。 話す相手や目的、場にふさわしい言葉遣いで話す。 結論や意図を明らかにしてから後で理由や根拠を述べる。 相手の話を聞きながら、話の中心や構成を聞き取る。 相手の意図をつかむために、質問しながら聞く。 	<p>【聞くことについて考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目的や内容を明確にして丁寧な言葉遣いでインタビューをし、話し手の答えを予想しながら話の内容を聞く。 ・インタビューの目的を経験に基づき話し合う。 ・具体的な相手や目的を設定し、インタビューの計画を立てる。 ・インタビューする人とされる人を交代しながら練習をする。 ・実際にインタビューをする。 <p>【読書の世界を広げよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○書かれている事実に基づいて、自分の感想をまとめながら読む。 ・読書会の方法を話し合う。 ・紹介する事柄や方法を考える。 ・読書会を開く。 ・発表の感想を書く。 ・感想を交流しあう。 	<p>【体積】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立方体、直方体の体積の求め方を知り、量感感得する。 ◎立体の体積の求め方について、友だちの意見と比較しながら考えることができる。 <p>【分数のたし算とひき算を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同分母分数の加減計算の仕方を理解しそれを用いる能力を高める。 ◎自分が考えた分数の計算の仕方を、自分なりの方法で表現したり、友だちの考えと比較しながら聞いたりすることができる。 	<p>主題名 幸せのヒント</p> <p>内容項目 D よりよく生きる喜び</p> <p>資料名『のび太に学ぼう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人間として生きる喜びを感じようとする心情を育てる。 ◎自分の意見を交流することができる。 <p>主題名 大切な自分らしさ</p> <p>内容項目 A 個性伸長</p> <p>資料名『漫画家手塚治虫』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の長所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる。 ◎自分の長所についてを交流することができる。 	<p>【田植えをしよう】</p> <p>(5-5交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○積極的に園児にかかわりながら、田植えをすることができる。 	
二学期	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめ伝えたい内容を整理して話せる子 大事な事や話し手の意図をつかみながら聞ける子 自分の立場をはっきりさせて、話題からそれないように話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> ・話題からそれないように、前の話し手に続けて話をする ・効果を考えながら、いろいろな発表方法を取捨選択する。 ・小集団の話し合いの内容をまとめて説明する。 ・大事な事をメモをとりながら聞く。 ・いくつかの意見を聞き、その違いや共通点を聞き分ける。 	<p>【伝えあって考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べた内容や感想が、クラスの友達に分かりやすく伝わるように、組み立てを工夫して話す。 ○発表者の考えと自分の考えとを照らし合わせながら聞く。 ・身近な環境問題について、調べたい課題を考える。 ・疑問に思った事や知りたい事についてグループで話し合う。 ・各自で調査活動を行う。 ・自分の考えを整理し発表メモを作る。 ・発表に必要な材料や調査結果を整理して資料を作成する。 ・発表メモをもとに、友達と聞き合って練習をする。 ・発表会を開く。 <p>【失敗をめぐって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの目的や順序を確かめながら、話題に沿って話し合う。 ・教材を読んで話し合う目的や順序を確かめる。 ・話し合いの順序を確認する。 ・順序に従って話し合いをする。 ・話し合いを振り返る。 	<p>【小数のわり算を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○除数が小数の場合の除法の意味とその計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を高める。 ◎整数÷小数の計算に仕方を既習の経験を生かし考え、わかりやすく表現することができる。 <p>【面積の求め方を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平行四辺形や三角形の面積の求め方を理解し、それらの面積を求めることができる。 ○いろいろな平面図形の面積について、既習の図形の面積の求め方をもとに考えたり、活用したりする能力を高める。 ◎三角形の面積の求め方を既習の図形に帰着して考えて表現し、全体に説明することができる。 	<p>主題名 自制する心</p> <p>内容項目 A 節度、節制</p> <p>資料名『流行おくれ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○常に自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけようとする心情を育てる。 ◎今までの自分を振り返って交流することができる。 <p>主題名 感謝の思い</p> <p>内容項目 B 感謝</p> <p>資料名『ありがとうの心』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分は多くの方々に支えられていることを知り、そのことに感謝しようとする心情を育てる。 ◎自分との関わりのある方々について今までお世話になったことを交流する。 	<p>【お米パーティーをしよう】</p> <p>(5-5交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園児への思いやりの気持ちをもち、かかわりを意識しながらいっしょに遊んだり、おにぎりを作ったりできる。 	
三学期	<ul style="list-style-type: none"> 話の筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉で話せる子 大事な事や話し手の意図をつかみ、自分の考えと比較しながら聞ける子 複数の意見を整理しながら話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手によくわかるように、短い文で話したり、適切な接続語を使って話したりする。 ・相手によくわかるように、資料や具体物を提示して話す。 ・話し手の話から、自分に必要な部分とそうでない部分を取捨選択して聞く。 	<p>【言葉っておもしろいな】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目的や場に応じて言葉遣いがどのように変わるかを考えながら話す。 ・グループごとにテーマを決め、相手や場に応じた言葉遣いについて提案する計画を立てる。 ・構成を考え、演じたり、書いたりして発表する準備をする。 ・発表を見ての感想を交流し合う。 ・相手や場に応じた言葉や表現について話し合う。 	<p>【比べ方考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○割合、百分率、歩合などの意味について理解し、それらを帯グラフ、円グラフに表したり、用いたりすることができる。 ◎星取り表を見てどのチームがよく勝っているかを、互いの意見を交流し合い、比べ方を見つけることができる。 <p>【円をくわしく調べよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○円周率の意味や円の面積の求め方を理解し、それを用いることができる。 ◎円の面積の求め方を、既習の図形と関連づけて求め、互いの意見を交流し合い、円のおよその面積を求めることができる。 	<p>主題名 お互いの権利</p> <p>内容項目 C 規則の尊重</p> <p>資料名『住みよいマンション』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自他の権利を大切に、自らの義務を果たそうとする心情を育てる。 ◎お互いが気持ちよく生活するための意見を交流する。 <p>主題名 温かな思い</p> <p>内容項目 B 親切思いやり</p> <p>資料名『くずれ落ちた段ボール箱』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○困っている人への思いやりの心を持ち、相手の立場に立って温かく接しようとする態度を養う。 ◎おばあさんから礼を言われたとき、「わたし」はどんな気持ちになったか話し合うことができる。 		

【虎姫小学校 6年】 伝え合う力をはぐくむカリキュラム

月	めざす子どもの姿	身につけたい力 (伝え合う力)	国語科		算数科との関連	道徳との関連	備考
			単元名・目標・具体的な言語活動・学習活動				
一学期	<ul style="list-style-type: none"> 内容や意図を整理して、伝えたい事を的確に話せる子 大事なことや話し手の意図をつかみながら聞ける子 自分の立場、考え、意図をはっきりさせて話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> 相手や場に応じた声の大きさやはっきりとした発音で話す。 自ら考えた事柄や相手に伝えたい事柄を設定する。 聞き手の反応を確認しながら、豊かな表情で自信をもって話す。 理由や根拠をはっきりさせながら順序や話の中心に気をつけて話す。 事実、感想、意見の組み立て、資料や例示の活用などを工夫して話す。 話し手の意図を正確に聞き取り、相手の立場や意見を理解しながら聞く。 	<p>【文章を読んで、自分の考えをもとう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○筆者がこの文章を通して読者に考えてもらいたいと思っていることをまとめる。 ・相手や場面に応じた適切な言葉遣いや構成で話す。 ・友達の話を読み、内容から話の意図を読み取る。 ・材料メモや構成表を工夫して発表する。 <p>【相手や目的に合わせて書こう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりする。 ○分かりやすい構成を考え、地図や絵、文章などの配置や書き方を工夫する。 ・自分の立場を明確にし、討論会で説得力のある発言をする。 ・メモを取りながら聞き、賛成意見を述べたり質問したり、反論したりする。 ・話し手の立場と意見を考えながら話の内容を聞く。 ・話し方、聞き方、話し合い方について自己評価する。 	<p>【分数のかけ算とわり算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計算の仕方を理解し、それを用いる能力を高める。 ◎自分が考えた計算の仕方を、自分なりの方法で表現し友だちと話し合うことができる。 <p>【比べ方を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単位量あたりの考え方を理解し、それを適切に用いる能力を高める。 ◎「こみぐあい」の比べ方について、自分の考えをもち、自分なりの方法で表現したり、友だちに説明したりすることができる。 	<p>主題名 精一杯生きる</p> <p>内容項目 D 生命の尊さ</p> <p>資料名『命のあさがお』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○命のかけがえのなさを知り自他の命を尊重しようとする心情を育てる。 ◎限られた命を力の限り生きぬこうとした主人公の思いを考え交流することができる。 <p>主題名 思いやりの心</p> <p>内容項目 B 親切思いやり</p> <p>資料名『心づかいと思いやり』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。 ◎「親切」について考えたりすることができる。 		
二学期	<ul style="list-style-type: none"> 考えたことや自分の意図がわかるように組み立てを工夫して話せる子 話し手の意図を理解し、自分の考えと比べながら聞ける子 自分と相手の立場や意図を確かめながら共通理解に向けて話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表時間、話し方、速さ、資料提示の仕方を考えながら話す。 ・聞き手の様子を確かめながら話す。 ・友達の発表の中で、共感できる事や疑問に思う事を考えながら聞く。 ・相手の意図は何か、伝えたい事は何かなど、具体的な観点をもちながら聞く。 ・順序や話の中心に気をつけながらわかりやすいように話す。 ・グループや学級全体で役割を決めて計画的に話し合う。 	<p>【共に考えるために伝えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べたことがクラスの友達に分かりやすく伝わるように工夫して発表する。 ・これからの社会がどのようになってほしいのかについて話し合う。 ・「よりよい未来」に向けて、何を誰にどのような方法で伝えるのかを考える。 ・必要な材料集め、発表の練習をし発表会をする。 ・友達と意見を交流し合ったり、自己評価をしたりする。 <p>【筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事実と意見を区別して書いたり、対立する意見を取り上げて反論を述べたりする。 ・目的を明確にして、調べたことや考えたことを友達にわかりやすく伝える。 ・話し合いを通してみんなの考えをよりよいものに練り上げる。 	<p>【比例、反比例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伴って変わる2つの数量について変化の関係がわかる。 ◎友だちの考えと比較しながら聞いたりして交流しあうことができる。 <p>【割合の表し方を考えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2量の関係を表すのに、比を用いることを理解するとともに、比の表し方と比の相等などについて理解し、それらを用いる能力を高める。 ◎2量の割合をそのままの数値を用いて表せる比のよさに気づき、自分なりの方法で表現したり、友だちの考えと比較しながら聞いたりして交流しあうことができる。 	<p>主題名 働くことの意義</p> <p>内容項目 C 勤労、公共の精神</p> <p>資料名『母の仕事』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共のために役立つことをしようとする態度を養う。 ◎仕事について自分なりの考えを持ち、そのことを交流することができる。 <p>主題名 自分を守る力</p> <p>内容項目 A 節度節制</p> <p>資料名『自分を守る力って?』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○節度ある生活をしようとする心情を養う。 ◎自分を守る力とはどんなことなのかを考え、意見交流することができる。 		
三学期	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意図がわかるように目的や場に応じた言葉遣いで話せる子 話し手の意図を考えながら聞き、自分の意見や感想をまとめられる子 相手と自分の立場を確かめながら問題解決に向けて計画的に話し合える子 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活を振り返って思う事を相手や場面に応じた適切な構成で話す。 ・人の考えや意見を素直な態度で相手の立場や意見を尊重しながら聞く。 ・自分の立場や意図をはっきりさせながら話し合う。 ・考えたことや自分の意図がわかるように、話の組み立てを工夫しながら目的や場に応じた適切な言葉遣いで話す。 	<p>【筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校生活を振り返って思う事を、相手や場面に応じた適切な構成で話す。 ・小学校生活を振り返り、一番伝えたい事が効果的に伝わるようにスピーチをする。 ・何を、何のために、どのように話すかをはっきりさせ、話し始めと結びを工夫して全体の構成を考える。 <p>【言葉って、おもしろいな】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本語のあいさつ言葉にこめられた意味や思いについて、友達と話し合う。 ・日本語の挨拶言葉にこめられた意味や思いについて友達と話し合う。 ・1年間の学習を振り返り、自分なりの学習課題や学習方法を考え、取り組む。 	<p>【量の単位】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単位の関係についてしり、使うことができる。 ◎友だちの考えと比較しながら聞いたりして交流しあうことができる。 	<p>主題名 あきらめない心</p> <p>内容項目 A 希望と勇気 努力と強い意志</p> <p>資料名『ロングシュート』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力しようとする態度を養う。 ◎将来の夢のために努力していることについて話し合うことができる。 		



令和2年3月

滋賀県教育委員会事務局

幼小中教育課